が選ばれた。その委員會の任務は『職業別支部を有する中央集權的ノールウェー全國組織』の規約を作り上げることであつた。中央集權化のこの問題はまた、その形式は多少異つてゐるにせよ、チェコスロヴァキアに於いても論議された。こゝでもまた一つの統一的組織を作るべしと云ふのであつて、その案は大體ノールウェーの案と一致してゐる。これは決して偶然の事ではなく、同一の原因によつてゐるものである。非常に巧妙に組織された敵との闘爭に於いて、勞働者階級はその勢力を最後の一人まで包括しなければならなくなつてゐるのであり、この中央集權案は日常の要求に適應してゐるのだ。だが事は今迄の處、案の完成といふ處までより進展してゐない。これも已むを得ないことである。かゝる中央集權は勞働組合運動の現在の發展段階に於いては一つの統一的組織を創ることは不可能だからである。かゝる中央集權は勞働組合運動發展の終局段階を表すものなのである。二三の過渡的形態が可能性を有つてゐるだけだ。何故ならば絶頂點に達した中央集權といふことは革命的勞働組合の內部にある保守主義自身と衝突するからである。この理由に因つて、勞働組合の再組織の問題は最大の愼重さを以つて取扱はれなければならない。この再組織は突然の飛躍によつてではなくてたゞ段階的にのみ、一部協同組合的な、一部產業別的な獨立組合より、統一的金庫と統一的中央＝組織への再組織が可能なのである。

第二番目のグループをなしてゐる諸問題、これは大會の特別な注意を要求してゐるものであるが、

これは革命的少數派の今後の活動の形態及び方法に關する問題を含んでゐる。プロフィンテルンの活動は各國に於いて種々相異つた、特殊的な組織的表現を發見した。例へばドイツでは改良主義的組合内のフラクションの外に更に特別な獨自の革命的組織が存してゐる。イタリーでは活動の主力はフラクションに集中されてゐる、そのフラクションは殆ど總べての産業部門にあつて、可成り成功的な鬪争を行つてゐる。イギリスでは組合に於ける反對派は一切の革命的分子を糾合してゐる。組織的には不明瞭である。アメリカでは「勞働組合宣傳聯盟」その形態は未だ完成されてゐないしまたあまりに不明獨立の諸組合があが創立された。これは主としてアメリカ勞働總同盟で活躍してゐる。その外に尚る。「勞働組合宣傳聯盟」の任務はアメリカ勞働組合運動の總べての革命的分子を、アメリカ勞働總同盟に所屬するか否かを問はず總べて糾合することにある。たゞこの方法に於いてのみ、この聯盟は、アメリカ勞働組合運動の當面してゐる任務を果たし得るのだ。

この問題は、二つの平行的組織——改良主義的と革命的との——が存在してゐる各國に於いては、もつと錯雜してゐる。これはフランス、スペイン、スウェーデン、オランダに見る所である。多分チェコスロヴァキアでも間もなくさうなるだらう、こゝでは改良主義者が全力を擧げて分裂に努力してゐるのだ。こういふ國では吾々はどういふ活動をしなければならないか？　これ等のうち或る國々では革命的諸組織全體がプロフィンテルンに加盟してゐる。又或る國々では革命的諸組織が吾々と對立し

てゐて、たゞこの組織の少數派のみが吾々の側に立つてゐる。革命的諸組織がプロフィンテルンに加盟してゐる國では、革命的分子の任務は、改良主義的組織の組合員に影響を與へることである。一般的にはプロフィンテルンの所屬員、特殊的には共産主義者は、改良主義的勞働組合に於いて系統だつた活動を展開し、そこにグループや細胞を形成しなければならぬ、また勞働組合の乘取りの鬪爭をなし得る限り、即ち組織が官僚主義者に唆のかされて分裂し、反對派分子が逐ひ出されるといふことがない限り、乘取り鬪爭を續けなければならぬ。プロフィンテルンの革命的組織が除名されてゐない處では、「プロフィンテルン」加入に贊成する少數派は、改良主義的勞働組合內部の少數派と密接な共同活動を行つて組合を乘つ取るといふ任務を負ふものである。一國に於けるプロフィンテルン所屬員の活動を總括するには、色々の組織形態があり得る。例へばドイツでは反對派の最も重要な核心は古い組合內部にあるのだが、こゝでは專門的な活動委員會がこの反對派の代表者及び獨立の組織の代表者から形成されてゐて、これが全ドイツのプロフィンテルン所屬員の活動を同格化するのである。

イタリアでは、一般勞働總聯合內の共產主義的少數派とイタリア・サンディカリスト同盟內のプロフィンテルン所屬員との間には實踐的一致が見られる。プロフィンテルンの所屬員——サンディカリスト及び共產主義者——は統一的方針を作り上げ、この方針が兩組織內に於て遂行されるのである。之と相似た交互關係はスペインで、全國勞働總聯合及び一般勞働者同盟內のプロフィンテルン所

屬員間に見られる。兩組合でプロフィンテルン所屬員は分離して組織されてゐるが、彼等は行動の同格化及び統一的方針の完成の爲に「合同委員會」を持つてゐる。大會は、最近數年間の經驗に適應した實踐的結論をこの經驗から引き出し、これまでまだ右の樣な結合をするに至つてゐない各國に於ける反對派を合同する形態を指示してやる義務を負つてゐる。

更に重要な點と成つてゐるのは、プロフィンテルンに加入してゐる個々の組合と當該國際產業別インタナショナルはプロフィンテルン加入の組合を系合との將來の關係の問題である。現存の職業別統だつて除名してゐることは周知のことである。それで例へばロシアの金屬勞働者、印刷勞働者、紡績、建築、木材、郵便、及び電信勞働者等々の組合は除名されたのである。革命的勞働組合は幾回も〳〵國際產業別組合へ加入を許可される樣に努力したが、常に失敗に終つた。それで、國際宣傳委員會から新しい革命的國際產業別組合の創設へ移り進まうといふ問題が起つたのである。だがこのことは、直ちに全產業部門に就いて行はれ得ることを意味するか？　また行はれ得ることを意味するのであるか？　決してさうではない。國際產業別組合は魔法の杖で以て一呼一瞬間に出て來るものではない。全產業部門に普遍妥當する樣な決定を作ることは許されないだらう。インタナショナルは、革命的分子が十分に確固眞實な基礎を有する場合にのみ建設し得るものである。進歩の遲れた產業部門のために活動展開の爲に何等かの過激的形態を見付け出さなければならぬ。同一決定を全產業部門

に適用し得ないことは明らかである。問題を各組合に就いて特別に論議し、また闘争能力ある産業別組合を創設することは、一つの赤色労働組合インタナショナルの組織よりも困難であることを考慮しなければならぬ。自分に課せられた任務に直面して誤ることなく完全に處することの出來る組織を作る爲には、更に一つの大準備活動が必要である。

大會は尚その他多くの組織問題を取扱はなければならないであらう。それには次の問題が入つてゐる。財政、勞働組合新聞、情報活動の完成、プロフィンテルン加入組織と共産黨との交互關係、等々。總てこれ等の問題は實踐的な解答を求めてゐる、といふのは吾々の組織的構造の原則的問題は既に第一回大會に依つてその解決を見出してゐるのであり、當該決定の變更は蛇足に過ぎないからである。

四

勞働組合運動に於ける統一のための闘爭

昨年は特に分裂、除名沙汰が多かつた。自分等の影響が次第に弱くなるのを感じてゐるアムステルダム一派は總ての革命的分子を徹底的に勞働組合から除名し始めた。この戰術は個々の國でそれ特質を有したのであるが、總てこれ等の行爲の意味は同一なものである。プロフィンテルンの代表者に宣戰布告さし、改良主義者は彼等に對して計畫的な攻撃政策を行つてゐるのである。例へばド

イツでは、改良主義的労働組合指導者は、組合指導部の選擧が共産主義者に有利な結果となるや否や直ちにその選擧を取消すのが通例となつてゐる。その際、プロフィンテルン所屬員が責任ある地位を手渡すならば、全地域グループの解散をすらやり兼ねないのである。チェコスロヴァキアのアムステルダム一派はもつとのさばつてゐる。ここではたゞ労働組合員が除名された。アメリカに於てもプロフィンテルンとの思想的連帶を表明したといふたゞそれだけで幾千の労働組合員が除名された。イタリアからも同樣な情報が來てゐる。つまり吾々は文字通りルン所屬員に對して宣戰されてゐるのである。その出兵の目標とするところは革命的労働組合運動の根源を突かうと云ふのだ。このやうな事情の下にあつては何を爲すべきであるか？プロフィンテルンがこの激増する除名沙汰を眼の前にして、受身の姿勢で居られないことは明かである。プロフィンテルンとしては、その所屬員が労働組合に於てその立場を代表する權利を奪はれ、革命的労働者が自分の組織内に於て保護を受けないならず者扱ひされることを許しておくことは出來ない。大會はこの問題に關し愼重な對策を講じなければならぬし、どの打撃に對しても攻撃を以つて答へるであらう。プロフィンテルンは、労働組合運動に於ける統一のスローガンの下に活動を行ふのである。これは吾々にとつては決して空吠え文句ではない。最近行はれた分裂とその原因とを注意深く研究すれば分る樣に、その原因が常に、改良主義の、少數派たらんことに對する恐怖にあるのだ。

だがプロフィテルンの所屬員は、全力を擧げて分裂に對して鬪爭し、勞働組合運動の統一を擁護することによつて、自分等は分裂を恐怖するものでないといふことを表明しなければならぬ。彼等はその勢力分散を我慢する譯には行かない。改良主義者の戰術が革命的勢力の弱化、最良分子の除名へと進むならば、正にその爲に勞働組合運動の統一が支離滅裂にされ、そしてプロフィンテルン所屬員は特別の組織を作ることを餘儀なくされるのだ。何故なら、さもなければ彼等は反動の打擊の下に完全に瓦解する危險に脅かされるからである。大會は疑もなく除名反對鬪爭の爲に斷乎たる形で態度を決めるであらう。大會は總ての被除名者の復歸を要求し、また之以上の除名を我慢する意志が毛頭もないこと、改良主義者が革命的勞働組合から除名することを許さぬことを公然と聲明するであらう。この戰術を今後更に適用する時に總ての國で平行的組織の創設を來すといふことをアムステルダムは知るがいゝ。

五　物價騰貴と失業

この具體的且つ實踐的な問題は近頃總ての國の革命的勞働者の代表者によつて論議されてゐる。既に第一回大會はこの問題を取扱ひ、物價騰貴と失業との增大に對する鬪爭の方法及び形態を示したの

である。吾々の提起したスローガンが革命的勞働者間のみでなく、凡そ我儘勝手に增長してゐる資本に對して眞實に抗爭せんとする者總てに反響を持つたことは、吾々の滿足して確認出來る處である。だが第一回大會以來（この問題は著しく尖銳化した。一九二二年七月、失業及び物價騰貴の問題が總べての國の勞働者を極度に刺戟したとすれば、現在はこの問題は遙るかにより意味深長な事柄になつてゐるのである。昨年は大衆貧窮化の時期であり、勞賃の組織的低下を伴つた物價騰貴增進の時期であつた。勞賃と最少限生活費との不均衡は益々大きくなり、失業は更に擴大しつゝある。生や乍ら勞働市場に於て賃銀引下げ人の役割を演じ、資本は增大する經濟恐慌を利用して、戰爭の結果を勞働者階級の肩に轉嫁するのである。

物價騰貴と失業とに對する鬪爭は、一般に革命的運動の發展の出發點である。これは改良主義的運動の弱點となつてゐる、何故なら改良主義組合は物價騰貴と失業とに對して何等實際的なことを行ひ得ないからである。最近數年間を通じ改良主義組合はたゞの一度も、常に增進する物價騰貴に對し、失業に對し眞面目に鬪爭したことはなかつた。改良主義は現在の資本主義制度の一結果たることに觸れることを彼等は敢へてしようとしないのだ。プロレ等の現象に對しては無力である。この制度に屬員にとつては物價騰貴及び失業に對する鬪爭の主眼は次の點にある。即ち經濟恐慌を支配階級に負擔させること、特別な行動委員會及び輸出入に對する統制機關を作る

こと、即ち生計を安くし失業を減少させる様な革命的對策を講ずることである。假令昨年はこの方面で、大體に於て勞働者階級の努力を達成させた結果といふものは別になかつたにせよ、今はも早や、勞働者がその生活標準を擁護し失業と闘ふために用ひた種々の闘爭方法及び闘爭形態が結晶されてゐる。第二回大會はこれに關して具體的なスローガンを與へ、一つの實踐的な行動綱領を作り上げなければならぬであらう。

六　軍國主義及び帝國主義に對する闘爭

アムステルダム・インタナショナル及びその加入諸團體は、時を選ばず何時でも戰爭反對抗議決議が作られゝば、それで善良な訓練あることの證據になると思つてゐる。だが決議で戰爭勃發が防止されたことは未だ嘗つて何處にもないことだ。これは帝國主義戰爭の際吾々の見た所である。また現在イギリスの勞働組合（トレード・ユニオン）の例にも見る所である。これは少し前近東に於てイギリスの計畫的な××干渉が迫つた際に、公然たる抗議に出ることを全然しようとしなかつたのである。アムステルダムの大會や會議に於てこの問題に就いて行はれた決議は、勞働者大衆の信賴と同情とをすつかり失つてしまはないための戰略的策略以外の何物でもないのだ。廣汎な大衆の眼には戰爭の可能性の考へが既にこの上

ない罪業として映つるのである。世界大戰の與へた傷はまだあまりに生々しいものであつて、新しい冒險をやる者を罰せずにおくことが出來ないのである。そこで彼等でも精神的な清い抗議決議と來るのだ。彼等とは「その」帝國主義者を意識的に支持した彼等であり、明日にでもその國が戰爭冒險へ押しやられることゝなれば恐らくまた支持するに違いない彼等である。軍國主義及び帝國主義に對する鬪爭は、ある何等かの國際大會に於て決議を採用することだけに限られるべきものではない。この鬪爭は各國に於てその國自身ブルヂョアジーに對して行はれなければならぬ。自分のブルヂョアジーに對する勞働者階級のこの鬪爭が激しくなればなる程、自分の搾取者に對する勞役大衆の活動が計畫的體系的になればなる程、帝國主義に對する鬪爭も亦た目覺しくなるであらう。若しフランスの改良主義者が戰爭反對の抗議決議を作つた所で事態は一歩も前進しない。何故ならばブルヂョアジーは決議を讀むことには慣れたもんだからである。若しフランスの改良主義的勞働者がフランスのブルヂョアジーに對し、實踐的な妥協のない階級鬪爭を遂行すると假定するならば、事情が違つて來るだらう、その時はフランス・ブルヂョアジーの力は直ちに痲痺し、彼等は新戰爭を開始し得ないであらう。

軍國主義及び帝國主義に對する鬪爭は何よりも先づ內部戰線に於ける決定的な無慈悲的な鬪爭を要するものである。戰爭の際の××××・×××××といふ思想は、密集せる統一的行動の前提がない

限り空文句に過ぎない。だが、個々の國々の勞働者がその資本家と結び附いてゐる時には、どうして行動の統一が達せられるか？　イギリスの日和見主義者がドイツの勞働者よりも自國のブルヂョアジーと親しいならば、またドイツの改良主義者がイギリスまたはフランスの勞働者とよりもずつとずつとドイツのブルヂョアジーと親しいならば、例へばどうして鐵業從業員のゼネラル・ストライキが出來るだらうか？　宣戰布告の眞つ初めの日から改良主義者が再び自國のブルヂョアジーの旗の下に結集し、××××を說敎するだらう。これは少しの疑もないことである。だから軍國主義及び帝國主義に對する鬪爭は××の觀念と密接な關係がある。ブルヂョア的な××の立場にある者は軍國主義に對して前進することは出來ない。單に形式的に結合した諸國から成立つ樣なインタナショナルは帝國主義戰爭に對して何等のことをも爲すことが出來ないのである。

ブルヂョアジーはどんな決議をも恐れない。手段はたゞ一つあるばかりだ。「××に對する戰爭」のスローガンを實現するのだ。それはまたブルヂョアジー××××××である。

植民地＝及び半植民地＝諸國に於ける勞働組合運動

勞働組合運動は最近迄その國際的性質がまことに不充分であつた。アムステルダム・インタナショナ

ルも國際産業別組合も、共に主としてヨーロッパのインタナショナルであつた、ではたゞアメリカの二三の労働組合を包含しただけで、近東極東の労働者運動ともなかつたのである。だが正に最近數年の特徴は植民地及び半植民地諸國に於ける労働者運動の飛躍的生長といふことなのである。今日では地球の何の隅でも、鋭い階級闘争が猖獗し、プロレタリアートの労働組合組織の存在してゐない所はない。最近數年間、印度、支那、××等々の革命的労働組合が思ひも及ばぬ程の發展をした。従つてプロレタリア××プロレタリアートの陣列へ引き入れることを、近東極東及び植民地の労働組合運動分野はまだ處女地である。この活動に對して、多くのヨーロッパ労國が遠く隔つてゐるのとその特有な文化のために、有色労働者の運動に對して、多くのヨーロッパ労働者の間にすら一種の輕蔑が行はれてゐる。印度、アフリカ、支那等々の労働組合を輕視して、たゞそれを談ずる際に手際悪く隠してゐるに過ぎない様な革命的労働者の間にすらあるのだ。ヨーロッパ労働者のかゝる自惚れは革命的組合の方針で徹底的に克服しなければならぬ。自國のブルヂョアジーが植民地半植民地諸國の労働者を搾取してゐる様な國々の労働者運動には、特にこの點に關してイギリス、フランス、アメリカ、××の労働者は一つの重大な任務が課せられてゐる。何故ならば來るべき年は大平洋沿岸に於ける新闘争を胎んでゐるからである。そして若しこ

の第二の世界戰爭が勃發する迄に大平洋沿岸に於ける革命的幹部の準備が遂行されてゐなければ、この戰爭はその國の若い××××××××を破壞するに違ひない。

昨年、大アメリカ勞働組合大會を招集しようと云ふ考へが起つた。吾々はそれに就いてこう云ふ大會に贊成する。何故ならば彼はこの大會の力を借りて北米ブルヂョアジーの帝國主義的計畫を實現しようと企てるからと。上述の考はアルゼンチン、メキシコ及び合衆國の吾が同志からも起つた。それによるとこの大會は改良主義に對する鬪爭、他方に於てはアメリカ・ブルヂョアジーの帝國主義的欲望に對する防衞對策をアメリカ大會は北米南米の全革命的勢力を結合し、備ふべきだといふのであつた。同時にまた、切迫しつゝある戰爭に對ようとする考へが起つたのである。だがこの大會も平洋沿岸諸國の勞働會議を招集しての關係諸國に於ける長い準備の後に初めて可能となるのだ。こういふ風な大會は、またその願望を行爲に移さうとするばかりでなく、その爲さうとする所を知つてゐるばかりでなく、組織が豫め作られてゐない場合には、ほんの僅かの成果より擧げることが出來ないのである。

總ての植民地半植民地諸國に於ける勞働者運動は現在一つの極めて困難な地位にあつてこう云つての運動は××の帝國主義ブルヂョアジーと、自分達の搾取者とに對して、二つの戰線に鬪爭することを餘儀なくされてゐるからだ。こう云ふ事情にあつては、勞働者の間に民族的傾向が地位を占め易

く、國内ブルヂョアジーと共に國外ブルヂョアジーに對して統一戰線を布かうといふ努力が起り易いことは明かである。屢々この鬪爭は露はな人種的性質を帶びるものだ。その根據はヨーロッパの海賊共のために植民地半植民地諸國の勞働者が曝らされたあの驚くべき搾取にあるのだ。

これ等總べての諸國に於て同一な勞働組合問題が起つてゐる譯でないことは自明の理だ。例へば吾々はエヂプトに於ては今は既に一つの革命的勞働組合を有してゐる。トルコでは勞働組合の生長といふ樣なことは殆ど語ることが出來ない。そしてトルコ政府は勞働者が勞働組合を作ることを禁じてゐる。ペルシヤでは工業が欠けてゐる結果組合は極めて弱く、また何等重大な役割を演じてゐない。インドでは比較的高度に發展した産業と馬鹿にならぬ勞働組合がある。だがこの組合はまだ改良主義的民族主義的精神が浸み透つてゐる。支那では多くの中心地には强力な勞働組合があつて、それは最近數年間に勝利あるストライキを鬪ひ拔き、その急激に高度に躍進する資本主義を有する××、特別な地位を占めてゐる。そこでは既に大きな勞働者諸組織がある、だがそれ等はまだ帝國主義に對して效果的な鬪爭を行ふにはあまりに弱い。總てこれ等の理由からして近東極東及び植民地に於ける勞働者運動の問題は、總ての國に同じ樣に解決され得るものではない。これに就いては各國の狀態の詳細且つ實際的な研究と各特別な行動綱領の完成とが必要である。

結　論

上述の諸問題を要約すれば分るのであるが、第二回大會は重大な實踐的な仕事を遂行しなければならぬだらう。根本的な原則的な諸問題は第一回大會に於て決定された。來るべき大會は十五ケ月間の闘爭經驗を反省し、然るべき實踐的な結論をそこから引き出さなければならぬ。原則的の問題が大體に於て既に解決されてゐるとしても、實踐的問題に就いては未だ多くのことを仕上げなければならぬのである。上述の諸問題の外に大會はまた、プロフィンテルンの機關の改善、個々の國々との聯絡の形成の問題をも取扱はなければならぬであらう。プロフィンテルンは未だ非常に若い組織である。それは最初の一年は國際勞働組合評議會の名の下に存在した。だが結晶的中心としては、國際的革命的勞働組合運動の中心點、旗印としては、そして最後に組織としては、プロフィンテルンは漸やく丸十五ケ月間存在して來たのだ。この期間全世界に於て如何なる活動が遂行されたかを檢討するならば、吾々は大膽に主張することが出來る。勞役大衆の結集のために大きなことが爲されたと。だがこの遂行された活動も、吾々に尚迫つて來る爲すべき仕事に比すれば消えてなくなる程小さいものなのである。第二回大會はそれ故に、活動範圍を擴張し、新しい勢力を引き入れ、吾々の組織の規模を擴大し、より早い歩みを以て、目指す目標——××、××、××——××××なければならぬ。

プロフィンテルン第三回大會を前にして

——「ローテ・ゲヴェルクシャフツ・インテルナチオナーレ」誌、一九二四年、第六號所載論文——

國際勞働者運動における轉向

國際勞働者運動における轉向は、ほゞ一九二四年の初頭にあらはれた。その主要な特徴は、たゞに防衛を目的とする勞働者の大衆行動ばかりでなく、また失はれた地位奪還のための一聯の攻撃でもある。この方面については、イギリスおよびドイツの大罷業が、また勞働組合運動の復活といふ點に特にドイツ鑛山勞働者ストライキが、重要な意義をもつてゐる。個々の國々においてもまた個々の産業部門においても、ブルヂョアジーは讓歩を餘儀なくされ、イギリスやフランスでもこの例に洩れてゐない。このことは、勞働者階級のなかにエネルギーが結集して、吾々が復活の段階に踏みこんでゐることを示す。資本の攻勢が終りを告げ、勞働者の攻撃が始つたなぞと主張するのは確かに誤りであらう。吾々はたゞその最初の徴候を目睹するにすぎない。だから、どれほどこの復活の過程がつゞくかは、今日にわかに斷定し難い。だが次のことは明らかである。すなはちこの復活の過程はさらに前進して軋轢は深くなり、二三の國々、特にドイツやポーランドにおいては、恐らく激しい動搖に至るだらう。經濟鬪爭、從つてまた政治鬪爭のこの復活を吾々は、吾々の戰術を確定する際に眼中においてかゝらねばならぬ。革命的組合にとつて即刻的解決を要する一聯の新しい問題がおこつてゐる。現下

の狀勢は、勞働者階級をしてその政治的經濟的活動を社會民主々義者およびアムステルダム派組合に對しておこたふことを餘儀なくさせてゐる。いまや革命的勞働組合はその將來の方向を熟慮して、たゞにブルヂョアジーの抵抗ばかりでなく、國際改良主義の反抗をも粉碎するに適當な鬪爭方針を立てなければならぬ。

革命的勞働組合運動の成長

最近數ケ月間に、かなり重要な革命的勞働組合運動の昂揚があらゆる國々に見られる。特にマクドナルド政府がイギリスの鑛山、金屬、運輸、木材勞働者のあいだに、プロフィンテルンの加盟者の影響は激增してゐる。プロフィンテルンの加盟者であるクックが、イギリス抗夫聯盟の書記長に選擧されたのも偶然ではなく、勞働組合運動の一聯の左翼的指導者たちがイギリス共產黨の今次の大會に際して、メッセーヂを送つたのも偶然ではない。數十年の間、政治については何物をも知らうと欲せず、またマクドナルドが事實、平和裡に、激變もなく內亂も起さずに、政治的經濟的權力を獲得するものと考へこまされてきたイギリスの勞働大衆は、いまや勞働者政府のこの漫畫に就いて正しい考へをもつやうにな

つた。かくしてマクドナルドが吾々の利益のためムステルダム・インタナショナルの議長、現イギリス植民大臣、イギリス帝國主義の守護神、トーマスの場合でも同様な結果だ。ストライキに對する勞働者政府や勞働者指導者たちの改良主義に對する疑惑は、勞働者階級の吾々の側への移行を意味するのみである。

同様な左翼化は、吾々はこれを改良主義が徹底的にその役割を勤め果したところのフランスに見ることができる。改良主義はその運命を左翼ブロックからあらゆる社會問題の解決を期待してゐる。しかもなほ、フランスの改良主義は選擧人大衆におくれた勞働者はかれらに追隨し、それゆえ改良主義は保守的勢力としての尊敬を克ちえてゐる。しかも吾々の鬪爭の意味からすれば、それはとるにたりない。すなはち、企業家たちは、前からもうそれに期待をかけてゐない。以前には少くともジョーホースまはじめに採用したやうな素振りを見せてはゐたが、今日、かれらは公然と宣言する。このお饒舌はかれらにとつて全く暇つぶしなものだ。だから、かれらはなにかまじめなことをやつて、最もおしやべりで、空虚で感傷的な辯家たちの仲間にならぬ方が、身のためだらう、と。それゆえ統一勞働總同盟はパーニヤを遂行し、相當注目すべき大衆を引きよせることができた。それは確かに、すべてを遂行す

ることはできなかつた。がしかし、それはたゞ統一勞働總同盟内のアナ系分子て、この連中の『革命的精神』といふのは、兩者の間に横槍を入れて改良主義あげて革命的勞働者運動を打破せんとすることにあるのだ。

ドイツでも、勞働者は動搖してゐる。十月十一月の敗北は、勞働者階級の列が、その影響は豫想外に些細なものであつた。既に二月三月四月に一聯の容易ならぬ階級衝突が起り、その際、勞働者はたゞに資本主義に對してばかりでなく、改良主義に對してもまた鬪爭する用意のあることを示した。

同様なことは、イタリーやその他多くの國々においても見られる。

ドイツやフランスにおいて、多大な投票數を獲得したが、これは大衆の不滿と革命的潮流の昂揚とを反映するところの現象である。共産黨が公然と姿をあらはしてゐない國々および産業部門においてすら、革命的勞働組合運動はプロフィンテルンの旗に從つてゐる。もつとも、この成行はかうなるより仕方ないのだが。

アムステルダム派の崩壊

アムステルダム・インタナショナルおよびそれに加盟の諸組織における崩壊の現象は、最近增大してゐる。アムステルダム系の勞働組合は、組織的危機に逢着した。特にこれはドイツの勞働組合運動に鋭くあらはれた。組合員の喪失は百萬をもつて數へられる。同時に、金融恐慌が勃發したが、その最たるものはドイツであつた。アムステルダム・インタナショナルにとつて最も憂慮すべき現象は、所屬組合の政治的衰頽である。最近五六ケ月におけるアムステルダム派の活動をみるに、その主要特徴として確かめられることは、指導者たちが〳〵公然とファシスト的な罷業破りを自認してゐるといふ事實である。全く公然とこの役割が、ドイツのアムステルダム派によつて演ぜられ、また他國の改良主義者たちによつては秘密に行はれてゐる。ドイツでは最近の經濟鬪爭においては、勞働者は絶えずブルヂョアジーとかれらの指導者とに對して、鬪爭せねばならなかつた。この事情は、すでに永らく、アムステルダム・インタナショナルの卒伍のなかに醱酵してゐた不滿を尖銳化し、その具體化は左翼の結成となつて現はれ、それはウィーンにおけるアムステルダムの最近の大會で右翼と抗爭しなければならなかつた。皮想的に觀察すると、ウィーン大會での論爭は再整理の問題、およびアムステルダム・インタナショナルと國際産業別書記局との交互關係を中心にしてゐるやうに思はれる。しかし、事實、組織問題は相當重要な政治的見解の相違をそのうちにもつてゐる。アムステルダム・インタナショナルの左翼（運輸勞働者、食料勞働者、被服勞働者など）は、國際産業

別書記局に對して、革命的勞働組合との統一戰線確立のための自主權を要求する。アムステルダム指導者連中はこれを無條件に拒絶する。だから結局、問題になつて來るのは、一すなはち、誰れと統一戰線を張るべきか、左翼勞働者と張るか、左翼ブルヂョアジーとか、といふことである。吾々は右翼が勝つだらうと確信する。だが、左翼化してゐる勞働者はダム內の罷業破りたちの獨裁に滿足するものではない。であるから、右翼の勝利において、ウィーン大會席上での一時的勝利となるだらう。

革命的勞働者に對する迫害

アムステルダム勞働組合の首領たちが右翼態度は、ますく〳〵冷淡な、和解し難いものとなる。勞働組合は共產主義的分子から淨化されねばならぬ！　と。ドイツ・アムステルダム派のスローガンはいふ。十萬の組合員中、その半數が共產主義者であるよりか、五萬の忠實な組合員をもつてゐる方がましだ！　とドイツのアムステルダム派は述べる。總じてドイツでは鬪爭が最も鋭く行はれてをり、そこでは社會的對立が露骨に尖銳化してゐるため、あらゆる對立が極端に苦々しく感じられ、あからさまな鬪爭の性質を帶びてゐる。

しかしこれは、なにもドイツに限つた現象ではない。改良主義者の頑張つてゐるところでは、どこでも、かれらは同じ方針を固守してゐる。アムステルダム派は、この數ケ月、プロフィンテルンおよび革命的勞働組合に對して特に死物狂ひの競爭戰をやつてゐる。プロフィンテルンは鬼子だとか、極罪の化身だとかいふことは、吾々のよく知り抜いてゐるところである。だが、改良主義者は最近特に、恐怖すべき風評を廣めんと躍氣になつてゐるやうだ。このことは、革命的な運動が成長し、かれらがまだその暖い席にかぢりついてゐようと焦慮してゐることを證明してゐる。この事から、革命的勞働者に對する彼等の神經過敏や彈壓も理解される。

除名や分裂が日程に上つてゐる。アムステルダム派は、たゞ金庫や組合機關を確保せんがために萬事氣をくばつてをられる限り、さうした場合、またその程度においてだけである。改良主義者の反おさまりかへつてゐる。勞働組合がかれらにとつて意味をもつてゐるのは、たゞかれらがうまく幹部に共產主義關係における氣狂ひじみた迫害の最も顯著な例は、疑ひもなくゴムパースである。かれは確かに、アムステルダム・インタナショナルとは別に直接な關係があるわけではない。しかしながら、この尊敬すべき反動の代表者の胸には、すでに以前からアムステルダムの指導者たちが宿つてゐた。しかも、かれは勞働者運動における急進主義に對する方策協議のため特別會議を招集した。アムステルダムとゴムパースとの相違は、ゴムパースは思つたまゝを公然といふのに、ジュオー、リペー、オー

ゼーの諸君は卑しい考へを綺麗な文句で包むといふことにあるのだ。アムステルダム・インタナョシナルのこんどの大會は、その本質上、ゴムパースによつて招集された會議と同一の樣相を呈するだらう。すなはち、吾々はそれを反共產主義的な會議として取扱はねばならぬ。確かに、こゝでは他の鬪爭スローガンは强調されないだらう。改良主義の生ける屍どもは、共產主義インタナショナルおよびプロフィンテルンに對する憎惡を保持するだらう。

勞働組合の破壞か、獲得か

吾々は再びこの問題を取上げねばならぬ。しかも、アムステルダム派の罷業破りの役割、かれらの二三の國々における、主としてドイツにおける、革命的勞働者に對する破廉恥な態度は、全く腐れ果てた組合から脫退するのが當然だといふ見解を代表する潮流を呼びおこしてゐるのだから。すでに一九一九——二〇年に、この問題はドイツ勞働者運動に起つてゐる。確かに當時、アムステルダム派の首領たちは、それほどひどく沒落してはゐなかつたが、すでに首のとこまで汚物のなかに沒してゐたのだ。周知の如く、ドイツ共產黨は、この問題のためにハイデルベルクの大會で分裂した。多數派は組合の破壞に贊成であつた。が、このために組合はなんら損害をうけなかつた。ドイツの共產主義的

労働者黨こそ悲慘な目にあつた。これに反して、て正しい労働組合の線を歩んだ少數派は、共産主ムの首領たちが恐らくもつと下劣になるだらうこ損はないことについての、道徳的感傷的評價のために自己を見ある。吾々の目標は、何人も、これに對して異存はなからう。しかし、脱退にはなほ距離がある。より吾々が少しも得るところなしといふのか？働組合の乘つ取りではなく、労働者層の階級意識の奪還で働者が吾々の側に引きつけられたのは、この戰術また今日、プロフィンテルンに從つてゐる數萬の労テルダム派の挑戰に應じるならば、それは非常な誤謬であらう。アムステルダム派の戰術は、どうかして吾々の戰術から逃れることなのだ。かれらはまく、かれらを除名しないならば、二三ケ月のうちに組合はかれらの手に落ちるだらう。しかし分裂政策の非難をうけないためには、吾々は憎むべき組合に對するかれらの自尊心を傷け、脱退を餘儀なくするように挑戰しなくてはならぬと。從つて、個々の組合員や全グループの脱退、或は労働組合のメンバーにアムステルダム・インタナショナルに對して文字通りの忠誓をなさしめようとする無理な要求などもうなづかれる。もし吾々がアムステルダムの挑戰に乘せられ、かれらの仕事を樂にしてや

るとすればやらうと、教者共の手も足も出ないようにしなければならぬ。吾々は悪しき革命家、悪しき共産主義者となるだらう。否、アムステルダム派はなにを吾々は組合に踏みとゞまつて大衆への影響を戰ひ、しかも労働組合内の一切の裏切者や背

労働組合運動統一のための闘争

この目的は吾々が、絶えず労働組合運動統一のためにひるまず精力的に戰ふときにのみ達しうるのである。こゝに、革命的労働組合運動の形態がさまざまであるために、吾々にとつて非常な困難が生ずる。平行的な、労働組合の國別による統一と並んで、各國に分裂した組合や除名派の組合があり、そして當然なことだが、これらが常に新しいメンバー獲得に努めてゐる。ドイツにおいて、チェッコスロヴァキアにおいて合衆國においてオランダにおいて、約言すれば到る處で、次のことが問題になつてゐる。すなはち第一に、分裂した組合が存在してゐる場合、統一のための闘争は繼續されねばならぬか？　第二、獨立した組合はもとの労働組合内の少數派と、どんな相互關係に立つべきである、各國においてプロフィンテルンの加盟者を包括する特別な機關を作ることが必要ではないか？　これら三つの問題のうち、第一の問題は、労働組合運動統一のための闘争を更らに遂行すべ

きか、或は公然と分裂の時期が到來してゐると宣言すべきなのか、といふことによつて最も容易に判斷される。しかしながら、まさにこの問題において、ドイツ國内の意見は、甚だまち〳〵である。ドイツには勞働組合運動統一のスローガンは無用だと說く一群の同志達がある。何故に——と、かれらは云ふ——改良主義との統一が不可能に見えるときに、吾々が統一のために戰ふ必要があらうか？　なぜ、大衆の間に嫌惡と不信とを呼び起すにすぎぬやうなスローガンを掲げる必要があるか？　結局、その勞働組合に見切りをつけて、吾々の活動のために別な基礎を見つけなくてはならぬのだ（工場委員會）。

思ふに、統一のスローガンを棄てゝ、そしてこの問題について改良主義者をして勝手にさせておくことは、吾々の側の根本的な誤謬であらう。統一のための吾々の鬪爭は、改良主義者が固く主張するやうに、デマゴギーではない。吾々は事實、統一を欲し、そのために努力してゐる。吾々が鬪爭のための統一を欲する、といふことにある、この相違たるや實に重要な性質のものであつて、國際勞働者運動にとつて最も重大な意義をもつてゐる。統一のための鬪爭は、依然として吾々のスローガンでなければならぬ。平行組織のある諸國（フランスやチェッコスロヴァキア）においてすら特別の顧慮を拂つて全勞働者階級の統一のための鬪爭を遂行しなくてはならない。なんとなれば、かゝる場合においてのみ、事實、大衆を糾合し、

かれらの行動に結びつけ、よつてもつて吾々の下に奪取することができるのだから。

國際産業別書記局

プロフィンテルンはその行爲によつて統一のための努力を示してきた。吾々は、吾々がこゝで常に除名派の復歸のため、また分裂した勞働組合の再統一のために努力したことは除外するも、吾々は絶えずロシアの組合の國際産業別書記局への參加を要求してきた。これが實現してゐないのは、その罪、アムステルダムは、代償として、ロシアの組合のロシア勞働組合中央委員會およびプロフィンテルンから手を切ることを要求してゐる。かくて將來、いかなる戰術をとるべきであるか。この問題がアムステルダム・インタナショナルの大會における注目の焦點であるかぎり、インタナショナルにわかに吾々の方針を決定することは困難である。吾々の態度はウィン大會の決議如何にかゝつてゐる。これに關して、二つの可能な場合が考へられる。アムステルダム・インタナショナルの少數派が勝利をうる、すなはち國際産業別書記局が獨立に革命的な勞働組合の參加を決定しうると假定しよう。かゝる場合は、吾々の方針を繼續し、全革命的勞働組合を國際産業別書記局に參加せしめるやう努力せねばならぬ。そしてこれが成功すれば直ちに、吾々は國際宣傳委員會を解散させ

るだらう。國際宣傳委員會は目的ではなく、目的のための手段たるにすぎない。各産業部門の全勞働者が一つのインタナショナルに統一せられるや否や、當然、國際宣傳委員會のこれ以上の存續は無意義となる。これに反して、アムステルダム・インタナショナルが産業別書記局のこの自決權を無條件に拒否し、この會議の一般的な規準への從屬を要求する場合には、吾々はいかなる立場をとらなくてはならないか。吾々はいまゝで通り、無慈悲に、革命的勞働組合の該書記局への參加を要求する。だから、國際宣傳委員會の存續如何は、完全にアムステルダム・インタナショナルの決議にかゝつてゐる。改良主義者の新聞より察するに、アムステルダム・インタナショナルはウィン大會において、プロフィンテルンに對する大規模な攻撃を計畫してゐる。おめでたう！　アムステルダムの指導者たちにしてノロマでないならば、四年前にプロフィンテルンは幽靈だといつたことを思ひ出すだらう。しかし、この幽靈が今日、かれらの平靜と安眠とを奪つてゐるのだ。かれらは、吾々に對して宣戰する必要があると考へてゐる。よろしい！　かれらの大會は、その席上で二三のかなり重要な勞働組合の支持をうけうる左翼の力が示されるに相違ないが、そのかぎりに於てのみ、吾々にとつて興味があるのである。

未組織の組織化

改良主義者たちの戰術は、あらゆる國々の勞働組合員のかなり著しい退歩をもたらした。現在、吾々には、組合を脫退し未組織大衆の數をますく〜增大させてゆく數百萬の勞働者について、これをどうすればいゝかの問題が生じてゐる。組織率の非常に高い二三の國々を除けば、大多數の勞働者は勞働組合の組織に入つてゐない。この方面で吾々の遂行すべき大事業のいかに困難なるかを知るには、三千萬の勞働者、使用人中、わづかに四百萬しか勞働組合に組織してゐないアメリカを指摘すれば充分である。しかし、ドイツやイギリスにおいてさへ、失望して組合から脫退した數百萬の勞働者があ る。どうしたら、これらの大衆に近づき、かれらを鬪爭に引き入れることができるだらうか？　かれらを未組織の狀態にほつておけば、かれらはファシストやその他の國家主義諸組織の毒牙にかゝる危險がある。ドイツの同志たちは、これを解決しようと努め、しかもいまだなんら具體的な結果を收めてゐない。滑稽なことは、未組織大衆のためにに、新しい組織をつくり、或は並行的な組合を創立することを、あくまで主張することである。

これらの大衆を包括するためには、既存の組織形態の方がもつと手近かに、かれら大衆を吾々の影響下にもたらすことができ、しかも工場委員會の助力による解決ほど有效な解決法は考へられない。工場委員會、統制委員會、爭議中のストライキ委員會。これらは基本的な機關であつて、これを中心にあらゆる傾向の勞働者は團結すべきである。たとえば、合衆國における場合の如く、なんらの

組合も存在してゐないような生産部門においては、殊に労働組合そのもの、創ばならぬ。吾々の欲する目的を達することのできる一切の組織形態は、理論的れる。しかしながら、一般に現實的には、特別な新しい形態を適用することは場委員會、エトライキ機關の助けをかりることによつて、吾々は未組織労働者てかれらを組織されてゐる分子と組織的に結合することができる。

工場委員會

外見上、この問題（テーマ）は落着してゐる。しかしたゞ場委員會の活動をもつと立ち入つて觀察するならば、一國の労働者は他國の經るところなく利用されてゐないことがわかる。西歐における工場委員會は、労働者階級の精神的煽動がほとんど労働者運動統一確立のための胎兒の狀態にある。工場委員會は、の労働者の直接的代表者である。こゝでは精力と創意との最大限を展開することが必要である。かなり強力な工場委員會運動をやつてゐるドイツにおいてすら、この運動はなんら一貫した形態をもつてゐない。その他のオーストリーやチェッコスロヴァキアなどの如き國々においても同樣である。フラン

スでは、工場委員會設立の第一歩が踏み出された。イギリスでは、この運動はまだ一般に存在しない。しかも、眞の革命的勞働組合運動は、工場委員會にその基礎をおかぬかぎり、不可能である。すでにさきごろ吾々は、いかにして工場委員會を設立すべきか、工場委員會はいかなる機能をもつべきか、に關して討議したが、かゝる純理論的な見解の相違は、直ちに過去のものとなるだらう。いまや吾々は、絶對に實踐的な仕事をやらねばならぬ。工場委員會の即刻的確立は、プロフィンテルンの加盟者の最も重要な任務である。特に、運動の分裂してゐる國々、一工場内の全員が二つ或はそれ以上の組合に所屬してゐる國々においては然り。工場委員會を中心にして勞働者大衆を集合すること、工場委員會を設立し工場の指導的機關にすること、工場委員會の協力範圍および權能を最も廣汎に擴張すること、工場委員會に經濟鬪爭の指導、行動委員會やストライキ委員會の確立をやらせること、工場委員會を一切の未組織者および青年勞働者の中央部に築きあげること、生産管理の準備のために工場委員會を、婦人勞働者および青年勞働者を訓練することも最も重要な任務である。

プロフィンテルン加盟者の

ストライキ戰略

最近、經濟闘爭の方法に關する問題が、あらゆる問題の全面にあらはれてきた。闘爭條件は、なかんづく、資本がこの組織を强力に確立し、勞働者階級に對してかなり複雜した闘爭制度を作りだしたゝめに、より一層惡化してきた。昔の闘爭形態は今日では無益である。自然生長的な運動は、素晴らしく組織された階級敵を相手どるようになつてから、無力なことを暴露した。だが、勞働者組織は、闘爭條件や闘爭方法の研究といふ意味からいつても、全く或はほとんど、何もやつてはゐない。たとへば、經濟闘爭に對する二三の一般的な規準を確立するために、なんらかの試みが企てられたゞらうか？　吾々の知り拔いてゐることだが、純粹な經濟闘爭なるものは決して存在せず、あらゆる經濟闘爭は同時に政治闘爭である。しかしながら、政治的階級闘爭の領域においても革命的世界運動の經驗を一般化せんとする試みは、ほとんどなされてゐない。さらにプロレタリアートの世界經濟闘爭の研究に至つては、一層なされてゐない。吾々の時代後れは、どの程度に國家的帝國主義戰爭が研究されてゐるかを思ひ浮べるならば、殊に明瞭にあらはれてくる。すべての非常に小さな戰ひですら、固き團結に全力をあげてゐる。吾々の時代から千年も前におこつた色々な戰ひですら、最も眞摯な研究の對象になる。ブルヂョアジーは、戰略戰術問題に關する廣汎な文献を所有するところの多くの士官學校を建てた。幾千もの人間が戰法の基本特徴を習得する。吾々は經濟闘爭指導の領域において、なにをもつてブルヂョアジーに對抗しうるか？　全くなにものもないのだ。しかし社會的見地からすれば、大きな

階級衝突は、どんな戰爭よりも比較にならぬほど大きな意義をもつてゐる。奉天の戰ひは人類のために、事實、一九二一年の百二十萬のイギリスの鑛山勞働者の十三週間にわたるストライキよりも、もつと重大な意義をもつてゐるであらうか？　ドイツの鑛山勞働者の現在の巨大な鬪爭は、Yseoschlacht の問題は、提出されゝば直ぐに正しい解答は與へられる。吾々は經驗に基いて、吾々の鬪爭を組織するために恐ろしいほど僅かのことしかしてゐない。インタナショナルの成員のうち、なんびともこの問題を一般に取扱つてゐない。この問題はいまだに日程に上つてゐない。しかも、この問題が、鬪爭條件の正確な研究を前提し、正しいストライキ戰略の完成を要求してゐるのに。これは確かに非常に困難である。しかし絶對的に必要なことだ。改良主義者は戰略問題に關心を持たない。なんとなれば、かれらは階級衝突を避けてゐるのだから。かれらは、歷史はあてにならない、巨大な社會的衝突はなくともすまされる、と信じてゐる。そして勞働者階級の目的を呪文によつて達しようと望んでゐる。これに反して、自己の力にのみ賴り、ブルヂョアジーの左翼は右翼と同樣にプロレタリアートの利害に敵對するものであることを洞察してゐる勞働者運動の革命翼にとつては、すなはち吾々には、ストライキ戰術の問題は重要な問題として保留されてゐる。吾々は國際勞働者運動の全經驗を集積しなければならぬ。吾々はまじめに特別な文献をつくり、戰略的規準を完成し、特殊學校の設立をはからなければならない。吾々はいまやすでに、革命的鬪爭のた

めに指導者の養成を考慮しなければならない。かれらは勝利の後には、社會主義建設の土臺石となるであらう。吾々はこゝで一つの全く新しい、しかもほとんど研究されてゐない問題、その問題が一定の實踐的結果をうるためには最も鋭く緊張した集團的な創意と集團的な意思とを必要とするところの問題を取扱はねばならない。

指導的闘爭機關

前述の任務を解決するに當つての困難は、主として、吾々が理論と實踐とを闘爭のなかにおいて絶えず確かめねばならぬ、といふことにある。吾々はプロレタリアートの政治闘爭のみならず、その經濟闘爭をも指導しなければならない時代にある。しかも非常に固くがつちりした組織を動かしうる國々においてばかりでなく、吾々が少數派である國々においても指導しなければならない。改良主義者たちはブルヂョアジーの側に移行し、あらゆる一寸したストライキをも絞めつぶさうとし、しかも罷業破りさえも平氣でやるのだから、吾々の任務は、一切の不利益な關係などを顧慮することなく、闘爭の先頭に立つことである。プロフィンテルンの加盟者たちが事件の進行とゝもに、指導的地位に立たされたことは、ドイツやイギリスなどにおける多數のストライキの示したところである。かれらは、

勞働者階級の最も革命的な部分であり、勞働者階級の前衞隊として先頭に立つて進まなければぬ。かゝる事實のある以上、爭議のずつと以前にストライキ鬪爭の指導機關はいかにして作らねばならぬか、といふ問題が非常に重要なものとなつて起つてくる。吾々はこの問題を無視し、もつて勞働者階級のまじめな鬪爭を敗北の危險にさらしてはならぬ。なにをなすべきか？　いかになすべきか？　經驗は教へてゐる。鬪爭が激化した場合に、必要な瞬間において、指導的グループをつくるために、今日吾々は勞働者の對立的部分をすでに包括しなければならぬ。この目的のために組合員を配置しなければならないと。黨および勞働組合内の少數派は、この組合員は、行動委員會やストライキ委員會においてさえ活動すべき準備をなすべきである。吾々は幹部を養成し、協働者の連絡網を密接にし、もつて危險な方面に派遣しうるような訓練ある人物の特定數を常に準備しておかねばならぬ。ヨーロッパ、アメリカが、共産主義者のあいだにおいてさえ見出される。この偏見は吾々のまさに克服すべき全く不當な先入見である。勞働者階級のなかゝら、最良の、最も怜悧な、最も精力的な革命的分子を選び出し、かれらをあらゆる激烈な鬪爭に際して、公然と或は秘密に、行動委員會やストライキ委員會等々へは入らせて利用しなければならない。吾々は古臭くなつた方法に從つて活動するような贅澤はできない。こゝにおいて急激な方向轉換をやらねばならぬ。でなければ、革命的勞働者運動は決

して改良主義が引いた限界線をとび越えることはできないであらう。指導的闘爭機關はあらゆる國々において作らるべきである。この機關を組織し、經濟闘爭の實踐的指導を吾々の手に收めることができれば、そのできる程度に應じて、プロフィンテルンの影響は增大するであらう。

經濟的偵察の役目

勞働者の諸組織は見事に組織された敵に對立する。近代の企業家諸組織は、かなり複雜な機構であり、その機能は非常に秘密にされてゐる。吾々はこれらの組織の外的構造を知るに過ぎず、その內的機構に關し、或は激しい社會的紛擾時において活動し始めるところのその秘密な力については、何にも知らない。しかしながら、この方面についての吾々の無知は、漸次、不幸なものとなるだらう。吾々は企業家組織の機密基金についてなにを知つてゐるか？　罷業破りの組織についてなにを知つてゐるか？　偶然に暴露されたもの、或は二三の小冊子や出版物から知るにすぎない。新聞、裁判所、および一般に全國家機構を結合するために企業家が用ゐる方法について、吾々はなにを知つてゐるか？　ほとんど何にも知らない。にも拘らず、闘爭はいよ〳〵ます〳〵困難になりつゝある。吾々は戰時と同樣に軍略に賴らねばならぬ。戰時にはいかなる黨派も偵察によつて敵の力の配置を知らうと

する。吾々はなぜこれをやらないのか？　なぜに労働組合は偵察隊を組織しないのか？　なぜに吾々は企業家組織の秘密を偵察しやうとしないのか？　なぜに吾々は信頼できる人々から、吾々に利害關係ある、『動員計畫』、組織の內的機構、財源に關する材料等々の文書を得ようとしないのか？　その理由は、多くの勞働者がいまなほ小市民的な道德の束縛を脫することができないからだ。しかるに企業家はかれらの仲間を吾々のなかに送り込んで、勞働者組織のすべてのことをかれらに報告させてゐる。かれらはスパイを有するのみでなく、勞働組合官僚主義は、プロレタリアート大衆のなかにブルヂョア思想を傳播さす先鋒以外のなにものでもない。企業家は勞働者の反抗を破碎するために、あらゆるものを動員してゐる。しかも吾々は遠慮してゐるのだ。吾々のあいだには、非合法に企業家組織に關する材料を得ることに贊成しない人々が多いだらう。その人々には、企業家の秘密を偵察するために吾々の同僚を派遣することが不道德に思はれるのだ。こんな連中はなくしなければならぬ。戰爭は戰爭だ。かれらの最弱點を臨機應變に攻擊するためには吾々は敵を理解し、かれらの戰爭計畫を聞き込み、かれらはどの程度に力を配置しうるかの知識を得なければならぬ。あらゆる大きな勞働者組織內には經濟偵察隊が作られねばならぬ。吾々の階級敵の側で、なにが起つてゐるかをよく知つてゐなければならない。　さもなければ、吾々は常に打ち破られるであらう。

組織について

革命的労働組合運動の最も重要な任務は、吾々自身の組織の建設である。困難なことは、吾々自身の組織の雑多な組合の中央部、改良主義的労働組合内における少数派、獨立した單獨組合、等をもつてゐる。吾々は一般的な労働組合の存在である。このために全革命的力を包括することは著しく妨げられてゐる。今後の吾々の組織上の任務は、何か？　組織問題の中心點は何か？　吾々の活動に最大限の彈力性を與へ、絶えず新しい大衆を吾々の組織的政治的勢力範圍に持ち來らす可能性を與へるような組織形態の結成、これである。注意すべきことは、どこにも少數派はかゝる組織として存在してゐないことである。一二三の國々（イギリスやアメリカなど）においては少數派はなんら一定の限界をもたぬこれに反し他の國々では、たとえばドイツにおけるが如く、かれらは組織的に結合してゐる。労働組合反對派の運動形成の線は、下から上へではなく上から下へ進んで行く。しかも無條件に必要なことは、一方、工場内に支持點をつくり、それから初めて地方的規模の反對派の結成に到達することができるように吾々の活動を構成して行くことである。

同時に吾々は労働組合内の新しい組織形態と關係しなければならない。資本の集中は、労働者層の

内部に、賃銀勞働もまた集中することが必要だといふ認識を生ぜしめる。かくしてまさに吾々は一般的な勞働者組合の形態にぶつかる。この思想は、單一組合が産業別支部と共に成立したところのチェコスロヴァキアに、かなり多くの支持者がある。しかし吾々の考へによれば、この試みは尚早である。勞働組合運動はある一定の段階を經てのみ初めて、かゝる組織形態はその時々の前提條件の範圍内で、その組織の適當さに從つて、批判されなければならない。瞬間的に事情がどのようであらうとも、『單一の組合』がどこでゞも廣大な勞働者大衆を包含することはほとんど不可能であらう。吾々は勞働者層のみならず、また黨員そのものゝ職業的な先入見をも勘定に入れなければならず、かくして吾々はかゝる組織の建設には最もはつきりした見透しを以て着手せねばならぬ。すべての力の統一は、疑ひもなく無條件的に必要である。しかしながら、輕卒は激しい反動を引きおこすものである。吾々がチェッコスロヴァキアでなした經驗は、多少とも單一組合への傾向のある國々の勞働者によつてまじめに考慮されねばならないであらう。

他の重要な組織的問題は、他國におけるプロフィンテルンの代表機關の問題である。吾々がチェッコスロヴァキアでなした經驗は、多非常に必要な代表機關が存在してゐる。ラテン民族諸國に存する中歐書記局や英國書記局は、同等につくられたものでなく、またその範圍や特質のうえからいつても同一の活動を遂行すべきものではないが、しかも各自の領域内ではプロフィンテルンの思想の事實上の傳播者である。そのもとでプロフィ

ンテルンが活動しなければならない諸關係を考慮すれば、吾々の創設した書記局以外には國際勞働者運動に働きかける可能性は存在しない。しかしながらこの書記局を政治機關たらしめることは、根本的に誤謬であらう。各書記局はプロフィンテルンの指令を遂行しなければならないし、プロフィンテルンは、西歐の勞働者運動を教示しなければならぬ、等々。そしてそれ以外のことはやつてゐない。與へられた權限外に出ようとする試みは、容易に並立主義に陷り、吾々の政治的方針を破壞するに至る。もちろん、吾々の代表は機關自己の領域に生じつゝある鬪爭を探究し、それに善處すべきである。この制度はなほ一時的なものにすぎない。あらゆる國々にしつかりした組織が大きく且つがつちりと存在する程度に應じて、これらにはプロフィンテルンを代表すべき任務が生じ、そしてプロフィンテルンの指令を遂行しなければならないし、プロフィンテルンの指令を遂行しなければならないし、プロフィンテルンは、西歐の勞働者運動を教示しなければならぬ、等々。そしてそれ以外のことはやつてゐない。與へられた權限外に出ようとする試みは、容易に並立主義に陷り、吾々の政治的方針を破壞するに至る。もちろん、吾々の代表は機關自己の領域に生じつゝある鬪爭を探究し、それに善處すべきである。この制度はなほ一時的なものにすぎない。あらゆる國々にしつかりした組織が大きく且つがつちりと存在する程度に應じて、これらにはプロフィンテルンを代表すべき任務が生じ、そしてプ

廣汎な活動がまちかまへてゐる。吾々は物質的な接觸を保持することにより、思想的接觸を强化しなければならない。

最後に、國際的連帶性による基金を論じなければならない。この基金は前年の大會により確立された。この基金のためになされる要求は非常に高く、鬪爭も多數なので、このために行はれる寄附金募集は燒石に水の様なものである。それゆえ、全革命的勞働者は勢力と資力との特別な緊張が要求されれば、かくしてのみ吾々は事實、滿足な結果を收めうるのだから。なんとなれば、吾々は誰れも常に必要な金額の大部分を支持しうるほどの金持ちではない。しかしそれ自身、さほど重要でない助力が鬪爭を優勢に導く場合があるのだ。連帶責任基金の確立、およびプロフィンテルンの財政的確立は、最も重要な問題として來るべき大會の議事日程に上つてゐる。

勞働組合運動における民族問題

この問題は形式的には解決されてゐるが事實上は解決されてゐない。原則的には充分明かにされてゐる。あらゆる民族の勞働者は同一の組合に屬さねばならぬ、といふことになつてゐる。けれどもこの原則の實踐的遂行、すなはち種々な民族の勞働者の組織的な交互關係を設定する段になると諸々の

困難が頭を擡げて來る。勞働組合が民族的特徴に從つて存在することは吾々も知つてゐる。その典型的な國は、かのオーストリア・ハンガリー王國の民族的遺産を繼いだチェッコスロヴァキアである。改良主義にとつては民族的軋轢は少しも珍らしくない。然し革命的勞働組合運動の中に

遺憾ながら近東、中東および極東における吾々の活動には多くの物足りないところがある。吾々の眼前には見透しのきかぬほど廣大な活動分野が横たはつてゐる。植民地ならびに半植民地諸國における近代的勞働者運動の形態は驚くほど中世の遺物ともつれ合つてゐる。東洋では、吾々の側ではあらゆる會議の討論題目になつてゐる。こゝではプロフィンテルンが他のどこよりも有用なものとなつてゐる。アムステルダム派も最近に至つて同樣に、東洋に進出を試みてゐる。かれらは日本の勞働者に對して國際勞働局への加盟を勸誘し、また印度の勞働者に秋波を送つてゐる。しかしそれはたゞこれらの諸國における革命的運動の擴大を妨止せんがためである。新生活に眼覺めた東洋はそれにも拘らず歐米帝國主義によつて最も殘酷に搾取されてゐる。遺憾ながら吾々は勞働者の狀態、生活環境、その要求等々について知るところが少ない。吾々の義務は革命的組合員のなかゝら適當な人物を選出して、東洋通を養成することである。吾々は、搾取されてゐる植民地＝ならびに半植民地諸國の最も邊鄙な隅々にまでも突進して行かねばならない。吾々は特別な會議を開いて植民地の後れたる勞働組合運動と意見や經驗の交換を行はねばならない。この方面の可能性は無限にある。吾々の障碍となるものは、言語の不通であり、更らに植民地の世界を蔽ふてゐる無知であり、ヨーロッパ帝國主義による苛酷なる搾取のために生じたところの東洋の勞働者運動の退歩性および其の民族的精神である。特に重大なる責任を負ふものは本國の、先づ第一にイギリスやフランスの勞働者だ。彼ら

は自國植民地の勤勞者のなかで廣汎な活動をやらねばならない。だが今日までこの方面の仕事は殆んど行はれてゐない。公然の秘密だがイギリス帝國主義にとつて印度やその他の植民地が搾取の對象として存續する間は、イギリス帝國主義は微動だもせずに續くであらう。同樣のことはフランス、オランダ、ベルギー、イタリー等にもあてはまる。けれども、本國との緊密な協同活動が行はれるのでなければ、植民地ならびに半植民地諸國における活動によつて帝國主義は倒壞され得るものではない。それ故に戰略的任務は支配民族および被抑壓民族のプロレタリアートの行動を同等にすることだ。

農民と勞働組合

この問題はプロフィンテルン第三回大會の日程に上つてゐる農民インタナショナル樹立の問題と關連がある。では農民インタナショナルにはいかなる見透しが開けるか。百萬の貧農の窮乏化、かれらの成長しゆく不滿、また金融＝産業寡頭政治に反抗するために組織せんとする欲求を觀察するならば、農民運動を知らぬ顏で看過することは出來ない。勞働者階級は金融資本や産業資本に對する凡ゆる反對的な運動のみならず、どれほどでも革命的な運動を支持することに利益を有する。しかし吾々は農民層の眞實の性質やそれが革命において演じ得る役割等についてなんらの幻影をも持つてはゐない。

農民は、勞働者階級が闘爭の指導を引受ける時にのみ革命の豫備軍となるであらう。しかしながら、都市の革命の利益のために農民を獲得するには傳導勢力を要する。そしてそれこそ農業勞働者なのである。農業勞働者は組合の組織によつて工業プロレタリアと結び付いてをり、農村における社會××××の道を開拓せねばならないのである。農業勞働者の組合はあらゆる不滿ある農民の貯水池にならねばならない。それ故にプロフィンテルンは農民インタナショナルに對して利害を有するのである。がしかしこの運動は農業勞働者の事實上の大衆運動ならびに闘爭運動を起すことに成功した時にのみ適當な道に就き得るであらう。

勞働組合および協同組合

協同組合運動は幾百萬の勞働組合に組織されたプロレタリアを捉へてゐる。勞働組合と協同組合の相互關係を再建せんとする企てはずつと前から行はれてゐるが、なほ今日までなんらの成果をも收めてゐない。改良主義的組合と改良主義的協同組合との間にはたゞ若干の接觸があるにすぎない。のみならずアムステルダム・インタナショナルと國際協同組合聯盟とは同權の委員を持つてゐるがその委員なるものは、國際勞働者運動の諸問題や、また資本に對する闘爭を如何に組織するかといふ問題な

ぞは扱はずに、たゞ協同組合内の管理部と使用人との間の些細な紛議の調停をしたにすぎない。かゝる態度で勞働組合と協同組合の相互關係を片付けるのは額の狹い改良主義者共にのみできることである。革命的勞働者にとつてこゝで問題になるのは、內容豐富な眞劍な關係である。協同組合運動は勞働者を消費者として結合する。そして勞働組合がまた協同組合員でもある。だから勞働組合員はすべてまたその組織に反影することである。だからかれらはたゝき出してしまはねばならない。けれどもこれは上述の如く、すべての勞働組合員が同時にまた協同組合員であつて、そこで積極的に協働してゐる場合にのみ出來ることだ。吾々がこの目的を達成するのは、吾々の諸組織が協同組合運動の意義を充分のみこんだ時だけである。協同組合への吾々の影響が强ければ强いほど、それだけ協同組合と勞働組合の連絡は緊密となり、また革命のために勞働者階級の全エネルギーを組織的乃至政治的に集中するための前提條件はます〳〵好都合となるであらう。

移民問題

移民は常に労働者運動にとつて非常に重大な意義をもつてゐた。二三の國々においては移住者の數が激増したために、今日すでに特殊な方策を施してかれらを組織し、かれらが移住した國々の勞働者運動を侵し、その種々な傾向を傳播して破壊してしまふのを妨止する必要があるように見えるほどである。移民の數百萬を算する合衆國を除いても、現在だけでも百萬以上のイタリー勞働者のゐるフランスを指示する必要がある。合衆國が移民に對して行つた制限は、移民の潮をヨーロッパ諸國の方に向はせた。それによつてそれらの諸國における勞働者の經濟的狀態はひどく侵害されてゐる。改良主義的勞働組合は移民問題を解決する代りに、移住勞働者と自分達の間に高い墻壁を設けたゴムパーズ氏の反動的勞働組合のことを一言もしやべらぬ樣に、移民そのものと戰つてゐる。ヨーロッパの勞働組合ですらも移民に對してなんらの好意を見せず、また××を當該國の勞働者階級の鬪爭のために獲得するために何一つやつてゐない。革命的組合にとつては事態は全然異つてゐる。吾々は、××をその時々の組合に引き入れるために系統的にかつ執拗に活動しなければならない。特別な機關紙ならびに部門を設けねばならない。××に、創意と獨自性とを發揮しうる可能性を與へ、自國語でなしうる

宣傳の手段を與へねばならない。吾々は移民が革命的組合のなかで、本國にゐるやうな氣持になれるように全力を盡さねばならない。それには革命的組合が移民勞働者に物質的精神的支持を與へればいゝ。吾々はどこの國でも移民には特別の例外規定の設けられてゐることを眼中におかねばならない。例へばフランスでは、たゞ普通のストライキに參加しただけで、移民にはより長期の禁錮を課したり、國外追放に處したりしても充分だとされてゐる。移民勞働者の法律上の地位は極度に不利である。それ故に移民勞働者と內地勞働者との××のために鬪ふことは、××的勞働組合の任務である。產業別部門と並んで、全國的中央部と、移民のために外國勞働者の×××活動のための××の事務局とを連絡し、移民のうちから協働者を選出することが必要である。革命的組合は、內地勞働者よりも××勞働者により多くの注意を拂ふ時に、その任務を果し得るのである。革命的組合の常に考慮すべきことは、住み慣れない環境に生活してゐる勞働者は、その國の慣習や氣風やに通曉して居る人々よりもより以上に助けを、要求してゐることである。××勞働者は革命的組織の積極的な、一切の權利を與へられた成員とならなければならない。といふのは、もしさうならなければ、吾々は、絕えずブルヂョアジーがその利益のために利用してゐるところの、××勞働者と內地勞働者との間の對立を除くことに成功することは出來ないであらうから。

ファシズムに對する闘争

ファシズム、特にファシスト的勞働組合に對する闘争は、依然として、革命的勞働組合の最も緊張した注意を要する闘争分野である。だから吾々が快だらうと不快だらうと、ともかくファシストが勞働者階級のなかに勢力をかち得てゐることだけは認めねばならない。イタリーのファシスト勢力を高く買被つてゐると考へても、なほ數十萬の勞働者がかれらの影響下にあることは事實である。ドイツにおけるファシズム運動もまた成功してゐる。ドイツではかれらは二三の工場に根を下ろすのに成功してゐる。反動的士官や學生を基礎にして、社會的闘争においてゐるかれらの愛國主義的勞働組合はすでに或る役割を演ぜんと努めてゐる。だからファシズムに對する闘争は、ファシズムはすでに或る勢力にまで成長してゐる諸國においてばかりでなく、漸く發生しかけてゐる所においても、敢行しなければならぬ。ベルギー、フランス、アメリカ、イギリス等でも、チェッコスロヴァキアでも、ハンガリーでも、到る處、ファシズムの組織があり、デマの口實を用ひて勞働者大衆のなかに喰ひ入らんとしてゐる。これらの組織は今その胎兒のうちに絞め殺してしまはねばならない。どうして絞め殺すか？　それには反ファシズムのプロレタリア的闘争組織を建設すると共に、ファシズム・イデオロギー

に對する啓蒙のために廣汎な宣傳活動を組織しなければならぬ。この活動は、イタリー問題についてのファシストの虚僞な約束を指摘すれば、ます〳〵容易になる。イタリー勞働者の經驗（八時間勞働日および勞働保護法の廢止、虐殺、勞働者指導者の逮捕、勞働組合組織の破壞、等）は無限に廣汎な範圍のプロレタリアートに知らされねばならない。さうすると、すべての勞働者はファシズムの勝利がどんな結果をもたらすかを確信することができる。他方、勞働者自衞團および反ファシズム勞働者團の組織によつて、フラ〳〵してゐる勞働者は自分自身の組織か敵の組織かどつちか一つを選ばざるを得ざるに至るであらう。ファシストには正義を對立させねばならない。かれらは非常に積極的であり、その積極性によつて勞働者を奪ひ去るのである。このファシストの積極性は、しかし、勞働組合運動における革命的要素の十倍の積極性が對立せられねばならない。かくの如きことをなさず、吾々がファシストをして工場内で思ふまゝにさせておくならば、その時こそ彼等は容易に目覺めた分子を自分の味方に引き入れることができる。かれらが一度びその組織を作れば、彼等に對する鬪爭はます〳〵困難になる。それ故にファシズムに對する適宜な方策が樹てられねばならない。

勞働組合とスポーツ

プロレタリア・スポーツは日と共にます〳〵重大な力となつてきてゐる。敷百萬のプロレタリア青年はスポーツを吾々より遙かに進んでゐる。完全にブルヂョア的なスポーツ團體と並んでかゝる混成物が存在してゐる。ブルヂョアジーに熱狂してゐる。けれども他と同樣、この方面でもブルヂョアジーは吾々より遙かに進にそれ自體が自己目的として教育せんと努力してゐる。すなはち勞働者の注意をプロレタリア・スポーツのもつ特殊な意義からそらさうと努めてゐる。だがスポーツといふものは全く異つたもので、單政治的鬪爭の目的なのではない。スポーツは單に勞働者大衆の健康增進の手段であるばかりでなく、現存の改良主義的武器でもある。

おいては第二インタナショナルにあるそのイデオロギーにおよびアムステルダム・インタナショナルは、イ々（フランス、チェッコスロヴァキア、ドイツ）に非常に注意すべき價値ある革命的青年のスポーツ團體をもつてゐる。では、この方面での勞働組合の任務は何か？　勞働組合は、スポーツ團體や組織に階級意識といふ意味から働きかけ、これらを資本主義に×××××××して行かねばならない。注意すべきことは、これらの組織はファシズムや反革命に對する××××として最もふさはしいといふことである。吾々はスポーツ組織を×××の武器たらしめるべく、スポーツ運動を獲得するよう全力を盡さねばならない。しかしながら、吾々の勞働組合はこの方面では未だ殆んど何もやつてゐ

ない。だがかくの如くスポーツ運動を顧慮しないことは、重大なる不意打を蒙る恐れがある。一方では労働者はスポーツによつてブルヂョアジーから監禁されてをり、他方では改良主義者がスポーツ組織のなかで思ふ存分跋扈してゐる。吾々が忘れてならぬことは、來るべき社會的闘爭においてスポーツ團體が極めて重大なる役割を演ずるであらうといふことである。吾々がそれを輕視してゐれば、吾々に反抗して來るであらうし、また吾々が必要な活動と革命的エネルギーとを捧げれば吾々と共に進み吾々の味方になるであらう。

婦人および青年の間の活動

勞働組合内の婦人の數はまだまだ大したものではない。勞働者運動が相當に高い比率の婦人を組織してゐる處ですら多數の婦人勞働者は組合の影響の外にゐる。これは全く危險である。數百萬のプロレタリア婦人を積極的協働に引き出すことなくしては、勞働者運動は勝利し得ない。プロフィンテルンは特別な婦人組織の結成に常に反對してきた。そして今後も同樣に反對しなければならない。だがそれだけでは充分でない。實踐的に活動しなければならない。そしてこの點で吾々の組織は行き惱んでゐるのだ。あちこちに存在してゐる婦人書記局は、勞働婦人の間で活動を實行するための第一歩にす

ぎない。婦人の間での活動のために書記局を設けることが必要なばかりでなく、全組織機關を今までよりもつと婦人の間で××するのに都合好いように改造しなければならない。特別の文書が出版されねばならぬ。この領域においては、吾々は全精力を緊張させねばならない。といふのは、ブルヂョア世界はその先入見をもつて、男子に對してよりも婦人に對してより大きな影響を及ぼしてゐるのだから。婦人は非常に遲れて組織的政治的生活に入つてきたのだから、吾々の側での最も猛烈な活動が、婦人を××××るために必要とされてゐる。

青年の場合は全然異る。青年は革命時代以後、革命的思想に大なる共鳴を示してゐる。青年インタナショナルによつて統一されてゐる青年同盟は相當に廣汎な組織的＝ならびに政治的活動を展開してゐる。だがこの方面でも吾々は比較的少ししか仕事をやつてゐない。革命的勞働組合でも一寸見たところ、青年を動かすような問題にほんの少しし注意を拂つてゐない。工場内の青年勞働者は、しかしながら、技術的生産力としてばかりでなくまた政治的勢力としても意義あるものである。

工場委員會獲得のための吾々の鬪爭は、婦人および青年を引き入れることなしには、甚だ不完全なものである。それはまた大會召集の場合も同樣である。工場内における婦人勞働者および青年勞働者の活動が煽動されねばならず、またそれによつて勞働組合内でのかれらの活動が克ちえられるのであるる。いまやプロフィンテルンが青年インタナショナルと協同してこの點に關する行動綱領を作成した

ものの、吾々の組織は、遺憾ながら、これに注意を拂はうとする少しの傾きもない。工場内の全勤勞者を結合しようとするならば、以上に述べた問題に全注意を向けねばならない。

救援組織（國際勞働者救援會）

勞働者階級は救援組織なくしては自己の鬪爭に成功することはできない。この赤色救援會はその成立當時においても、またその外勞働組合者救援會等である。國際勞働者救援會の活動分野に近接せる領域においても、多くの仕事をしてきた。ストライキ參加者のために食料製造所を設けたり、これらの人々のために生活手段を買ひ入れまたはそれを金錢で支持したりした。約言すれば、本來にこれらの人々のためにである。社會的衝突が今日の如く廣範圍におよぶ場合には、かゝる救援活動およびそのイニシアテーブは凡べて最も重要なものである。國際勞働者救援會の活動は吾々が正しい進路にあることを示してゐる。それは依然勞働者階級の鬪爭における救援組織でなければならぬ。國際勞働者救援會は今日では改良主義者の猛烈な非難の的となつてゐる。かれらの非難は國際勞働者救援會は共産主義思想を普及し、コミンテルンやプロフィンテルンの誇大廣告をするといふのである。だがそれならなぜ第二およびアムステル

ダム・インタナショナルは同様な誇大廣告を拵へないのか？　國際勞働者救援會に對する改良主義者の鬪爭は全然別個な、もつと深い理由があるのだ。これらの紳士たちはブルヂョアジーと非常に緊密に結び付いてをり、そのためにかれらは、ブルヂョアジーが勞働者階級を搾取するのを妨害し得る組織は如何なる組織と雖も我慢できないのだ。これに反して、吾々は國際勞働者救援會を支持し、その活動舞臺を擴大し、その仕事を一定の軌道に向はしめるために全力を盡さねばならない。

上述のことはまた赤色救援會にもあてはまる。それは白色テロルやブルヂョア法律の犧牲者を援けるのである。だから改良主義者と共通な何物をも持たない。なんとなれば、これらの先生たちは白色テロルやブルヂョア法律の下で少しも苦しんではゐないのだから。否、かれら自身がプロレタリアートに對するブルヂョアジーのテロルや法律の支持者なのである。

以上二つの組織の活動は共に國際的革命的勞働者運動にとつて極めて有用なものであるから、最も廣範圍に亘る支持が確保されねばならない。

勞働組合新聞

勞働組合新聞は大なる成果を擧げてゐるとはいへ、吾々はこの領域における任務の百分の一

も果してゐない。吾々の新聞はまだ微弱であ
ーよりも少ない。確かに吾々は立派に編輯さ
。イタリー、イギリス、チェッコスロヴァキア、
數がプロフィンテルンの組織の成員數を超過
を發刊し、さらに各國において全革命的勞働
期には共産主義的新聞に特別な欄が設けられ
勞働組合運動のための中央機關紙を出さねば
刊にまで眞劍に進まねばならない。プロフィ
廣翰なプロフィンテルン文庫がある。もつと
新聞の問題と
れてゐる報告の
しか顧みられて
ならびにバルカ
る。プロフィン
ンテルンの全支
も、それは包括的でないのは勿論である
最も密接な關係のあるものに
發行といふ方法でやつた。こ
ゐない。この點でもつともつ
と狀勢の惡いのは東洋方面である。スカ
ン諸國の勞働組合新聞や、勞
働組合運動に對する報告資料の傳達につ
テルンとそのすべての支部と
の連絡をもつと改良して、報告を出し、
働組合運動について精通してゐるように
部および部門はいつも國際勞働組合運動について精通してゐなければなら

ね。この領域における吾々の活動を百倍化するとしても、なほかつ充分でないであらう。

結　語

こゝに簡單に示した革命的勞働組合運動の任務からして、吾々は、プロフィンテルンの次の大會がいかに大きな仕事をなし遂げねばならないかを知るのである。政治的問題を組織的な技術的な問題から分離するのは誤謬であらう。これらのものは相互に最も緊密にもつれ合つてゐる。よい政策はたゞよい組織のある場合にのみなされ得るであらう。また最善の組織はよき政策と共にのみ存在し得るものである。政策問題と組織問題のかくの如き一致を、吾々はロシア共産黨、コミンテルン及びプロフィンテルンの活動の中に最も明瞭に看取するのである。

吾々は、吾々の戰術を變更せねばならぬか？　同志の中には戰術の變更しかも『新しい』戰術を要求するものがある。新しい戰術はどうして作られると言ふのか？　なほかんづく、統一戰線のスローガンを廢して、その代りに勞働組合運動の分裂が宣言さるべきだと言ふ。すでに、この題目については吾々は述べてゐる。統一戰線の戰術についてはなほ少し述べれば十分である。この戰術に反對するものは、吾々がまさにこの戰術によつて生長してゐることを全く忘れ

てゐるものである。その例は統一戰線の戰術に相當強硬な反對のあつたドイツ共産黨である。ドイツの同志達は統一戰線は下からやらねばならぬと要求する。しかしながら、この問題でだけに、一般にあてはまるもふさはしくないように思はれる。原則や行動樣式を持出すことは最も國際運輸勞働者大會は統一戰線を上から、即ち時期、場所およびちかけるのが好都合だらう。ある場合に起る惡い結果は、專ら無用な方法に歸すべきである。一九二三年五月の原則的に反對する者のなかにも、この企圖の大きな政治的意義を否認するものはまた。統一戰線戰術だからこの戰術は今後も依然、階級鬪爭における重要な操作である。すべての戰役に際し豫じめ根本的に熟考されねばならない。吾々は、陣形を急速に變更して勞働者の間にその時々に起り來る現象を顧慮し得る樣にしなければならぬ。だから吾々が狀勢に適應して『上から』或は『下から』といふ原則を適用しようとも、常に吾々はいかなる犧牲を拂つても大衆を吾々の味方にひき入れるといふ目標を念頭においてゐなければならない。

各國の勞働組合運動は、さらに、勞働組合と勞働者政府との關係を、はつきりさせておかねばならぬ。革命的組合の革命政府に對する關係は、なんらの說明を要しない。サヴェート・ロシアにおけるプロレタリア××の機關である處では、政府は革命的組合からあらゆる方法で支持される如く政府が

のである。だがしかし英國流の勞働者政府に對しては、いかなる態度がとらるべきかは事態は明瞭だ。英國の勞働者政府は聯合政府の變り種以外の何ものでもない。かれの屈服が暴露されねばならぬ。それには單なる批判だけでは不充分であり、それ以外に精力的な活動に對する彼等の恐怖、社會改良と名のつく一切のものの拒否、ブルヂョアジーへのかれの實を附け加へねばならない。廣汎なるイギリス勞働者大衆（現今ではデンマークも同樣）はかくの如き勞働者政府にさへ信賴してゐるのだ。かれらはまだなほ議會主義的民主主義的幻想に浸つてゐる。吾々は、この政府に社會立法、勞働條件改善、租稅制度、植民地問題等の領域にわたる具體的な綱領を提出しなければならぬ。吾々はこの政府に、その切札を暴露させねばならない。それには上に述べたような方法で、すなはち大衆が贊成するにきまつてゐる具體的綱領の提出によつてやらねばならない。勞働者政府が存立してゐる處ではプロフィンテルン加盟者たちは特に注意深く、特に賢明に、勞働者政府を支持する大衆に對して統一戰線の戰術を應用しなければならない。

萬國の革命的勞働組合運動が步まねばならない道は險阻な曲りくねつたものである。しかしながら幾百萬の勞働者はなほも自國のブルヂョアジー、自國の國家および自國の改良主義者との戰鬪に勝たねばならないのだ。疑ひもなく大なる困難に打勝たねばならないが、その困難は決して打勝ち得ないものではない。一層の忍耐、執拗、革命的柔軟性、社會革命に對する一層××××——××

×××××××××！。（野村譯）

プロフィンテルンの第四回大會の諸成果

――一九二八年四月二十日、勞働組合と工場委員會のモスクワ地方機關が參加して開かれたモスクワ地方勞働組合評議會の擴大總會に於ける報告――

プロフィンテルン第四回大會は、全國際勞働者運動にとつて、それが第三回大會の三年八ケ月後に開かれ、即ちかなり長い時期の勘定をするといふ理由で、非常に重大な意義を持つてゐるのみならず、主としてそれが、その範圍、その構成、その決議の性質および最後にその活動方法からいつても、確かに素晴らしい現象を形ち作つてゐるといふ理由で、非常に重大な意義を持つてゐるのである。

プロフィンテルン第四回大會に於ける代表

第四回大會は――この點が先づ强調されねばならぬが――それ以前の諸々の大會から比べると構成の範圍が著しく廣大であつた。

こゝ數年の間に、數多なる國々がプロフィンテルンに加盟したが、それらは從來は國際勞働組合運動の圈外にあり、その代表者は第四回大會で始めて他の國々の代表者達と顏を合せたのであつた。第三回大會と第四回大會との間の時期には、一方にはコロンビア、ペルー、チリー、エクアドル等々のやうなラテンアメリカ諸國が、他方には東洋の諸國が歷史的舞臺に登場したが、この東洋諸國には支那も含まれ、一九二五年の初頭始めてプロフィンテルンに加入した支那の勞働組合運動は、吾々の特別な注意に値ひするものだ。

かくてまづ指摘されねばならぬことは、五十ケ國の代議員のうちで二三の者は、プロフィンテルン

の一員として第四回大會に參加したのではなくて、むしろ世界ブルジョアヂーに對する共同の階級戰爭の同盟者として、就中フィリッピンの勞働者運動や、ノールウェー勞働組合同盟や、そしてラボロの勞働總同盟（イタリー勞働組合同盟）の公けな代表が參加したといふことだ。

大會には大印度を除く世界の殆どすべての國々が代表されたが、印度では可成り大きな又勢力ある左翼が成立してゐるにも拘はらず、プロレタリアートの階級鬪爭に於いて重要な役割を演じつゝある其の勞働者運動はイギリスの阻止堡によつて代議員を送ることを妨げられた。大會に代表されたものは、五十ケ國と世界の五大陸すべて、即ちヨーロッパやアジアの外に、南北アメリカ、オーストラリアの勞働組合運動、並びに北アフリカの二三の組織であつた。だがチュニスとアルヂェリアの勞働者團體は、警察の奸策やサヴェート同盟へ旅行することの困難のために大會に參加することを斷念しなければならなかつた。世界のあらゆる反動列强國が吾々の大會に對抗して活動したといふこと、二三の國々では代議員の選擧やその出立が警察の多くの妨害を克服しない中は不可能であつて、從つてすべての國々が大會で十分に代表され得たといふわけではなく、一方では又その他の國々は非合法的代表に依る外、途がなかつたといふこと、これらすべてのことを思ひ浮べるならば、そこではじめて、大會へ代議員を送ることの意義や、吾々を妨害しそして吾々が克服したところの諸々の困難等についても正しい觀念を持つことができる。

まさしく彈壓や逮捕、世界反動の統一戰線が、一聯の國々の勞働組合運動が只その一部分しか代表されなかつたといふ結果を來たらしめたのだ。××からも可なり多くの代議員が到着する筈であつた。だがたゞ一人の××の同志が來ただけである。その他の同志は逮捕された。この間、旅行の途上に於いて代議員の『好まざる滯在』といふことが、同樣その他の國々でも起つた。かくて勞働組合に對するプロフィンテルンの政治的影響と全世界に張り廻らすその組織的影響とは、第四回大會に於ける廣大な範圍の代表に於いてさへも未だ充分には現はされるに至らなかつた。世界反動の壓迫が、明らかに代議員の數を減じたのだ。

既に述べたやうに、すべての國々は公式の勞働組合組織によつて代表されたといふわけではなかつた。その勞働組合運動が完全にプロフィンテルンに結びついてゐるサヴェート同盟支那、コロンビア等のやうな國があるし、それから分裂した勞働組合運動をもち（フランス、チェコスロヴァキア、日本等）、革命的組織の代表者のみが出席したやうな國もある。更にまた大會には、改良主義的勞働組合に於ける革命的翼の代議員が參加した。例へばドイツ、イギリス、合衆國等だ。そして最後に多くの場合においては、非合法的勞働組合運動、例へばラボロ勞働總同盟の代表であつた。代表の樣々なる性質は、取りも直さず國際勞働組合運動の現在の狀態を反映したものだ。大會には、國際勞働組合運動およびその革命的左翼に於けるすべての事柄が反響したのだ。

××家と改良主義者との間の力關係

最近の大會と關聯して先づ第一の問題として起るのは、即ち、プロフィンテルンは第三回大會以來の期間において成果を收めたか、全世界に於ける革命的勞働組合運動は進歩を示し得たか、或はまた改良主義者が主張するやうに衰微の狀にあるか？といふ問題だ。

こゝに課された問題は、革命的および改良主義的勢力の勞働組合での革命的および改良主義的意義を細心に吟味し、規定し、商量した後に始めて解答されることが出來る。

國際改良主義は、二つの國際的勞働組合組織に基礎を置いてゐる、即ちヨーロッパでは國際勞働組合聯盟、所謂アムステルダム・インタナショナルに、そしてアメリカではアメリカ大陸の改良主義的勞働組合の中心たる汎アメリカ勞働聯合に。これらの組織は、國際勞働組合運動と勞働者運動の中における凡ゆる反動的な、後れた傾向を吸收した。それは次のやうな勢力を左右してゐる、國際勞働組合聯盟は（一九二八年の狀態によれば）一千二百八十萬の同盟員を、そして汎アメリカ勞働聯合は三百五十萬。だが國際勞働組合聯盟（もしくはアムステルダム・インタナショナル）が八年前はその陣列の中に二千四百萬の組織勞働者を統一してゐたことを顧慮すれば、簡單な算術法則によつて彼の『生

長』の方向と性質とを規定することが出來る。けれども純算術上の數は、國際改良主義の革命的勞働者が改て決定的說明を與へるものではない。多くの國では共産主義者によつて指導される革命的勞働組合の內部にあり、アムステルダム・インタナショナルの統計的數字の行列はそれによつて補はれてゐるが、その數字の中には約百萬の所屬をもつイギリスの少數派運動、ならびにドイツ勞働組合の百萬を超える組織勞働者の上に影響を持つ革命的翼が包含されてゐることを知らなければならない。それ故、改良主義的組合および反動的インタナショナルの內部には、組織上は改良主義者と結合してゐるが、それに反し精神的および政治的にはプロフィンテルンと結合せる革命的翼が存在してゐる。この左翼は、如何なる勢力を左右しつゝあるか。所謂二つのインタナショナル——國際勞働組合聯盟（アムステルダム）および汎アメリカ勞働聯合——の中には、吾々は少なくとも三百萬の同志を持つてをり、彼等は吾々の指令に從ひ、吾々の旗の下に鬪爭し、吾々の方策を遂行し、そしてプロフィンテルンによつて作られた戰術を用ゐてゐる。形式的には、彼等はアムステルダム・インタナショナルの成員ではあるが、併し實際にはプロフィンテルンの成員である。獨特な組織的組立てはプロフィンテルンの方針によつて條件づけられて、それは改良主義的勞働組合に於ける勞働者の獲得に向けられてゐる。

吾々が、此の二つのインタナショナルをプロフィンテルンに對立させ、そしてその勢力を數の上から理解しようとするならば、吾々はプロフィンテルンが——改良主義的組合の革命的少數派を姑く置いても——一聯の強力な獨立せる革命的組織を基礎として居り、その中にもサヴェート同盟および支那の勞働組合が第一位に立つてゐることを知る。私は、すべての加盟組織を算へ上げはしないだらう——吾々はそれについては既に充分に材料を公けにした。だが勢力の數の上の對立が既にプロフィンテルンの優勢を證據立てゝゐることを强調することは重要だ。けれどもそれと同時に、勞働組合運動に於ける反動的翼が取るに足らない大きさであるとか、近年可成り重要な地位を失つた改良主義は、輕視したり或はまた歷史上の計算から除外したりすることが出來る大きさであるとか云ふことはできない。それは誤りであり、表面的であり、革命的勞働組合運動に於いて威勢を振ふ革命的現實主義にいだらう。國際改良主義は、なほ著しい勢力を持つてゐる。それはなほ、最も重要な資本主義諸國、ドイツ、イギリス及び合衆國に於いて著大な勞働者層に支持されてゐる。それは多くの國々に於いて非常に重大なことだが——又最後にそれが帝國主義の同盟者だからである。

革命的勞働組合と改良主義的勞働組合との勢力を比較するにあたつて、革命的或はまた改良主義的勞働組合に組織されてゐる勞働者の數を注意するだけではいけない。勞働組合運動の右翼と左翼との

間の勢力關係は、國際勞働者運動の全情勢とその內部に於ける諸過程とを把握することによつてのみ規定され得る。反動と革命との凡べての勢力を測定し、改良主義の側には世界資本主義が、そして革命運動の側には唯一の、しかも非常に重要な國、卽ちプロレタリア××の國が立つてゐるといふ事實を酌量した後、一言にすれば、勞働者運動に於けるすべての事件を分析した後に始めて、改良主義的勞働組合運動や、改良主義的インタナショナルの眞實の力に對する完全な見透しをつけることが出來るのだ。『改良主義的組織』といふ言葉に非常に心を奪はれて、そして或る程度まで此の言葉に壓迫されてゐる同志がある。名目上の强さとそして機關との背後に、彼等は階級鬪爭の力學、勞働者階級を煽動し行く諸過程を見ないのである。彼等は、改良主義の勢力から由來してゐることを見ないのである。例へば勞働組合運動が非合法的であり、そして勞働總同盟が階級鬪爭の基礎の上に立つてゐるイタリーのことを思ひ浮べてみよ。そこでは改良主義者と共產主義者との間に於ける力關係は、何によつて規定されるか？　大衆の間に於ける自由な煽動によつてか？——斷じてさうでない！　そこでは勢力關係は、あらゆる强制手段やあらゆるテロールの方法を共產主義者に對して用ゐてゐるファシスト國家によつて規定されてゐる。そして、ブルガリア、ユーゴスラヴィア、ルーマニア、ギリシヤ、ポルトガル、ブラジル、支那、日本等の如き國々に於いてはどんな狀態であるか？　そこではプロフィンテルンとアムステルダム・インタ

ナショナルの所屬者との間の力關係を規定するものは何であるか？――大衆に對する改良主義者の觀念的・政治的影響などは極く小さい。インタナショナルとその支部との社會民主主義的幹部の背後には××官廳や×××やその他のブルヂョア・ファシスト國家の諸々の裝置や企業家組織は、革命的勞働者運動と戰ひつゝある、改良主義勢力を判斷しようと思ふならば、正にこのことを觀察しなければならない。改良主義は、ブルヂョア國家の援助なしには、それが現在演じつゝある所の役割を演じ得ないであらうことを知らねばならない。

この點に於いては、單にイタリーやバルカンに於ける事件のみならず、其の他多くの國々に於いてもまた非常に顯著なものがある……なほそればかりか――公然の白色テラーが支配し、支那流に、勞働者が勞働組合に所屬するために斬首されるか、或はまたイタリー流、ブルガリア流、ユーゴスラヴ流、ルーマニア流、ポーランド流、ハンガリー流、チェッコスロヴァキア民主主義の外見および之に類した流儀の國に於いてのみならず、所謂ブルヂョア民主主義の外見的原則が保證されてゐる國に於いてもさうだ。ドイツ、フランス、イギリス、合衆國、チェッコスロヴァキア等に於いても亦、改良主義者と共産主義者との間、プロフィンテルンとアムステルダム・インタナショナルとの加盟者間の力關係が勞働者の一定層に對する改良主義者の影響によつて條件付けられることは、ブルヂョア國家機關の全力が革命的勞働者運動の破壞に向けられてゐることによつて條件付けられる程に甚しいものではない。だが眼をペンシルヴァニアに向けてみよ、今なほ續く鑛山勞働者の

ストライキの數ケ月のうちに、多くの指導者は殺され、ストライキを
放逐され、抵抗するといふ理由で催涙瓦斯や窒息瓦斯で苦しめられてゐる。更にまたドイツを
らば、そこでは無數の共産主義者が牢獄に入れられ、フランスでは改良主義者、企業家、國家、法廷、
警察等々の統一戦線が革命的勞働者やユニテリアン派の組合に對し向けられてをり、そして最後に
ギリスに於いては、産業大ブルジョアと總評議會の統一戦線が少數派運動に對向してゐる。
一言にすれば、改良主義者と共産主義者の間の統一戦線が革命的勞働者やユニテリアン派の組合に對し向けられてをり、そして最後にイ
やファシスト・テラーやそして××の迫害等を同時に顧慮することなくして云々し得る國は一つもな
い。先づこのことをはつきりと知るならば、彈壓にも拘はらず、白色テラーにも拘はらず、また數多
の國々の革命的組合の指導者達が拷問され死刑されるにも拘はらず、國際勞働組合運動に於ける勢力
關係が吾々の方に優勢であることをも認識するのである。

現在の改良主義の樣相

改良主義的勞働組合運動の現在の時期を特徴付けるものは何か、改良主義的勞働者は
政策に於いて現在卓越せるモメントは何か、そしてまた第四回大會はその特別な注意を何に向けなけ

ればならなかつたか？　先づ第一に、改良主義的右翼労働組合がブルヂョア國家及び資本主義的諸組織の直接の道具に轉化したことにだ。數年前までは胚芽にすぎなかつたものが、最近に至つては改良主義的労働組合の有機的協働や、ブルヂョア國家と企業家組織へのそれの極めて緊密な接近といふ明瞭な輪廓をもつた政策にと發展した。最近數ケ月間だけの出來事を見ても、改良主義的労働組合指導部が如何に甚だしくブルヂョア國家に接近したかがはつきりわかる。ごく最近ベルギー労働黨の中央機關紙『民衆』は、有名な右翼社會主義者ベルトランの熱烈な論文『労働者運動に於ける新しい導向』を公けにした。筆者は、全世界に於いて労働者運動は『より眞面目に』『より現實的に』なつたと強調してゐる（彼が労働者運動といふのは、改良主義的労働組合の指導者のことなのだ）。ベルトランは、二三の實例を引いて彼の根據としてゐる。即ち、曾つてのアナルコ・サンディカリストのジュオーは今や階級の協調を幹旋してをり、スヰス労働組合同盟は昨年の終りに開いたその最近の労働組合大會に於いて規約から『階級闘爭』といふ言葉を削除し、イギリス労働組合の總評議會およびドイツの労働組合は、産業平和の政策や實質的協働の政策を遂行しつゝあると。かくて筆者は、次のやうな結論を引き出してゐる、全世界の労働者運動（改良主義的指導者のことなり）は、ブルヂョアジーに對し、國家に對して和解的に出てゐる、蓋しそれ（労働者運動）は一の權力となつたからで、『國に對する責任』の重大性を自らに說き明かすものである等々、と。この論文は最高度に特徴あるものだ。

勿論こゝに問題とされてゐるのは、全國際運動の進化ではなくて、たゞ改良主義的り、改良主義的組織の指導者と企業家組織の指導者との間の接近が問題とされてゐるのだ。接近は益々密接に、と同時にまた愈々局限されつゝある。吾々は、改良主義的ブルヂョア國家の中へ獨得に編制されてゐるのを見聞しつゝあり、このことは彼等の革命的勞働者に對する企業家と改良主義者との間の統一戰線のうちに、ストライキのサボターヂュ理想化のうちに、經濟鬪爭の絞殺等の中に——一方ではブルヂョアジーとの協調政策のうちに、そして他方では革命的勞働者運動の破壞のうちに、このブルヂョアジーとの統一戰線は、現在、確乎たる完成された事實だ。それは改良主義的政策に於いて、とりもなほさず一つの新しい現象であり、既に一定の組織的形態を採つたものだ。私は、改良主義のブルヂョアジーとの協調の實例を引用する必要もない。それは日々の新聞によつて周知であらう。協調は、イギリスに於いては所謂『産業』平和であり、ドイツに於いては『帝國經濟委員會』への改良主義的勞働組合の參加等々である。同じ現象は到る處にある。

しかし、正にこの近年におけるブルヂョアジーとの協働の方向への轉換は、如何にブルヂョア國家への改良主義的幹部、改良主義的機關の編入は、何故にまさに今や組織的に結晶しつゝ

あるか？――その過程は、大衆の急進化によつて喚起されるのだ！　大衆の増大する不満、闘争の新しい形態および方法に對する力強い欲求、どえらい經濟闘爭（イギリスに於ける炭抗夫のゼネラルスト ライキ、ドイツの金屬工業に於ける衝突）の中に呼氣を吐く勞働者階級の増大し行く興奮に、隨伴現象としてまさに、屢述せるブルヂョア組織への改良主義的指導者の接近があることは特筆すべきことだ。こゝに外見上一つの矛盾がある。外見上ではこれは逆樣でなければならぬ。資本の壓迫、資本主義的合理化の消極的結果――八時間勞働制の廢止、すべての社會的獲得物の喪失――は、勞働者を急進化し、彼等のうちに反抗と不滿との精神を呼び覺ます。從つて改良主義者は、本來なら大衆支持の方針へ發展し大衆に接近しそして彼等の氣分を反映しなければならなかつた筈だ。ところが、實際には事物は別の轉向を取る。何故か？――何故なら、改良主義的勞働者は控へ目な社會民主主義的スローガンのための闘爭に於いてさへも客觀的に社會民主主義に反對して進軍しつゝあるのだからだ。丁度、例へばロシアに於いて一九〇五年の自發的運動が、實にツァーの旗を推し立てゝ（私は一月九日を想ひ起す）始まつて××××××に反對して向けられたやうに、今やまた勞働者の凡ゆる大衆運動は、最も初歩的な獲得物の擁護に――八時間勞働制、勞働保護法の擁護と、强制調停制度、資本主義的合理化等に反對して――客觀的には全改良主義的機關、改良主義的政策と戰術とに反對して向けられてゐる。改良主義者は大衆のうちに――故に大衆と共にブルヂョアジーに向つて進軍するか――

或はまたブルヂョアジーのうちに、即ち大衆に反對してか、何れかに支柱を探し求めなければならない。第三の道はない。勿論、個々の國に於いては、改良主義者は大いに劃策しようと試みてゐる。彼等の劃策とは、大衆の生長する不滿、勞働者階級の自發的衝突およびその壓力の增加と共に、ブルヂョア國家と資本主義的諸組織とのうちに支柱を見出さうと努力してゐる。かくて階級協調の偏向は、かくも急速に發展し、かくて吾々はブルヂョア國家への接近および編入を見聞し、かくて凡べての資本主義的諸國に於いては、階級協調の諸形態が最近燎亂たるの狀にまで擴がつてゐる。

總評議會が、ゼネラルストライキと炭坑夫ストライキの敗北と、それによつて解き放されたプロレタリアートの最高指導部に對する不滿の後に、產業平和の問題を日程に上せたことは決して偶然ではなかつた。イギリスおよびその他の國々に於ける企業家との妥協と階級協調の方針が、高まりつゝある經濟鬪爭の波と平行して、同樣に偶然ならず發展してゐる。そこには一つの密接な關係が存在する。吾々はそこに一つの過程の二つの側面を持つてゐる。改良主義者にあつては、それは勞働者の不滿と階級衝突との高まり行く波を抑止し、干かせるための、ブルヂョア國家及び企業家組織を恃みとする努力であり、再保險である。

* * *

* * *

第四回大會は、全體としての國際狀勢、增大しつゝある國家及び階級の間の國際的および國内的衝突、サヴェート同盟に對する國際帝國主義の明らかに尖鋭化した鬪爭、あらゆる國々に於いて尖鋭化された勞働者階級に對する鬪爭の勘定をしなければならなかつた。第四回大會は資本主義的合理化の諸結果や、並びに改良主義的指導者の進化を暴露し、かくして勞働者運動の革命的プロレタリアートの初等的獲得物の喪失等、並びに改良主義的指導者の進化を暴露し、かは、革命的翼に方針を描き示さなければならなかつた。プロフィンテルン第四回大會範圍と性質について說明するために、たゞ二三の根本的なことを顧慮した。だがこゝでは、第四回大會について說明するために、たゞ二三の根本的なことが述べらるべきだ。

ストライキ戰略の諸問題

大會によつて解決されなければならなかつた第一の問題は、經濟鬪爭の增大し行くトライキ戰略の問題、および勞働組合に於ける改良主義者の專咨なる支配の問題であつた。勞働者大衆を階級鬪動の革命的翼は、一方では勞働者階級のすべての行動に勝利を確保し、他方では勞働者大衆を階級鬪爭のために、改良主義的勞働組合の內部において如何に作戰しなければならないか？この二問題は密接に結び付けられ、相互に有機的に合生してゐる。吾々はストライキ戰略の問題をあらゆる側面から解明し、すべての國々に於いての吾々の弱點を指摘し、且つ唯一の正しい革命的方針を

描き示さなければならなかつた。困難なことは、多數の國に於いて改良主義的勞働組合の公けな機關がストライキ破りの機關であるといふことにある。改良主義者は勞働者の初步的な經濟的要求を決して代表しない。非常に多くの場合、勞働者は企業家に對する鬪爭に於いて、自分達が組合費を拂つてゐる組合から支持されないばかりではなく、彼等はその組織の意志に反してすら鬪爭しなければならない。勞働者は、國家、企業家組織、および多くの國において一切の行動に對して反對する强力な機關を持つてゐる。改良主義的勞働組合、の統一戰線に對立してゐる。この點をよく考へるならば、勞働者運動の革命的翼の正しい戰術、方針の作成、少數派は如何になすべきかの指導は、極めて重大な意義性が資本の集中と比例して如何に高まりつゝあるかを、經驗から知つてゐる。ある小工場に於けるストライキは、それだけでの事柄だ。數億萬人を左右する現在の資本主義の貴族に對するストライキは、それとは全く別な事柄となる。小工業に於けるストライキと他國のに於けるそれと密接に結びついてゐる工場に於ける鬪爭とは、本質的に相異した二つの事物である。一區域に於けるストライキと國際トラストおよびシンディケートに對して向けられる鬪爭とに關してもこれと同じだ。資本の集中、生產の合理化および企業家が不熟練勞働力を補充や破りとして獲得し得ること等は、改良主義的組合の內部に於ける革命的勞働者のストライキ戰術を、多くの障碍と結びついた非常に眞劍な

問題たらしめてゐる。その唯一つの例にすぎないが、ドイツおよび合衆國の例があるて、僅か數ケ月前に金屬工業で一つの衝突が起つた。改良主義者は、巧妙な政策を遂行した、即ち、勞働者の不平不滿がまさに組合の埒を越え出でようとし、そして勞働者が行動に出づたときに、組合は運動の先頭に立つて、外見上鬪爭を遂行するやうに見せかけて、然との商談を始め、そして勞働者に訴へたのである。多くの場合に於いて組合は意識的に公然の衝突を招かざらんとした。彼等は、事件を調停裁判所に引渡した。調停官は、例へばドイツではその一定部分は社會民主主義者であり、殆んどいつも勞働者の不利益になるやうに仲裁判決を下した。仲裁判決が下ると、この判決、法律に從ふのだ、だからストライキを拒否するのだと組織は宣言した。衝突を仲裁判決へと導き、かくて鬪爭の最中にストライキを中斷する、か樣な戰術はストライキ破りと同意義だ。けれども、すべての勞働者、然りすべての共産主義者達の間に、國家の仲裁者による仲裁判決の拘束的宣告が下された後に、混亂が起る。二三の共産主義者は、拘束的宣告が下つかぬ。ドイツ出來ないと考へた後には、明かに更にストライキを續けてやることは從つて第四回大會の任務は、このやうな場合には同志は如何なる態度を取るべきかについて先づ彼等を啓蒙することであつた。企業家に對するストライキと、企業家並びに各工場にその指導者を持つ

勞働組合とに對する鬪爭とは、全く異なる二つの事物である。例へばドイツに於いては、勞働組合は社會民主主義的工場委員會の多數派を基礎としてゐる。そこでは、だから勞働者を動員することは、勞働組合や此の工場委員會に反對して彼等を動員することを意味する。私は、此の任務が如何に困難であるか、また改良主義的組合の强力な機關の意志に反してストライキをやらねばならぬ情勢に於いての戰術が、如何に複雜してゐるかを云ふ必要は恐らくあるまい。

中心問題はこうであつた。吾々――勞働者運動の革命的翼――は吾々がその成員である改良主義的勞働組合のあらゆる決議に、彼等がストライキに反對を表明する場合に、從はなければならぬか？組合がストライキに反對だと言明したならば、吾々はそれに服從しなければならぬと云つた共產主義者があつた。けれども大會はそれとは別な立場をとつた、即ち、革命的勞働者は、ストライキ破りの決議に從つてはならぬ。彼等は企業家および勞働組合機關に反對してストライキを挑む權利を持つのみではなく、義務をも持つてゐる。

こゝに重大な『併し乍ら』があるのだ。ストライキを挑戰することは困難ではない。が併し乍らストライキを勝利に導くことは、非常に困難だ。この點に關して吾々は二重の經驗を持つてゐる。非常に興奮し易い二三の同志は、改良主義者の態度を怒つてストライキを促したのであるが、大衆の機運を考慮にも容れず、ストライキが準備されてゐないといふこと、また勞働者がそのスローガンに從は

ないだらうといふことをはつきり知りもせず、即ち客觀的情勢と、吾々と改良主義者との間の勢力關係とを顧慮もしなかつたのである。他方ではまた、壓倒的な多數が其の組織の裏切り的戰術に反對し闘爭を欲してゐたにも拘はらず、吾々の同志がストライキの先頭に立つことを怖れ、改良主義的組合の指導に從つたやうな場合もあつた。

大會は、正しい勞働組合方針と何等共通するところのないこの二つの背犯を責めた。吾々にとつては、組合は目的ではない、物そのものではない、組合は手段であり、闘爭のための組織である。組合がストライキ破りをやるならば、吾々は、それに反對してでも闘爭しなければならぬ。問題は——一般的な抽象的なスローガンの基礎の上にではなくて、その時々の從業者及び當該産業の勞働者の諸々の具體的な直接的な要求の基礎の上に、諸々の力を集め、勞働者を組織することである。

ストライキ戰略および戰術の根本的な諸問題と關聯して、大會に於いては、一見あまりにも初歩的に見える第二義的の多くの問題が現はれた。けれどもまさに之等の問題を討議したことは、ストライキ問題の研究を總括的にし、またその方法の意味に於いて正しくした。國際勞働者運動の歴史から私が知つてゐる限りでは——そして私はそれについて多少研究したのであるが——世界の如何なる勞働者大會も、ストライキ問題やそれと關聯する諸問題を、實際の階級戰爭の問題として取り上げたものはない。だがまた私は、吾々がストライキ、その性質、方法等の研究に關してなほ非常に後れてゐると

云はねばならない。

現在、ストライキとは何であるか？　階級戦争の一挿話である。けれども、例へばイギリスの炭坑夫ストライキのやうな、形式的には経済的性質を持つてゐるが、事實的には政治的意義を持つてゐるような、形式的には経済的性質を持つてゐるが、事實的には政治的意義を持つてゐる激しい衝突について、如何に取り残されてゐるかを認識するのである。古代ギリシャおよびその革命的インタナショナル――コミンテルンおよびプロフィンテルン――がブルヂョアジーやその戦争を以て始まつた一切の戦争は、あらゆる方面から研究されてゐる。大戦争に献げられた幾百巻の書籍は圖書館を充たしてゐる。が併し吾々は、十七週間續いたイギリスの炭坑夫ストライキのやうなかくの如き大衝突についてどんな著作を擧示できるか！　二三のパンフレットを！　この偉大な階級戦争が研究題目としてまで研究されたか？　軍事専門家のするやうに研究されたか？　否。そこで吾々は、なほ多くのものを補足しなければならない。吾々は大會に於いてストライキ闘争の一聯の問題の皮切りをし、そして吾々の諸經驗の決算をなし、諸々の困難を明らかにしようと試みた、けれども尚ほ吾々は決して凡べてのことをなし終つたといふわけではない。何故なら吾々はこゝで全くの新開地に在るからである。巨大な經濟闘争は、いまもなほ殆んど研究されてをらず、そしてその教訓を國際労働組合運動の

實踐に於いて利用することは不充分だ。

統一問題

吾々は、既に多年の間統一のために戰つてゐる。數多の同志は、吾々の戰術が何等かの成果を示したかを問題にする。吾々は絶えず益々、統一を、統一を……と繰り返へしてゐる。しかるに改良主義者は古い方針を續行してゐる。吾々は總評議會が英露委員會を破壞するときも、統一を叫んでゐる。吾々の方針は急進的なものに變更すべきではないか？——これは失望した同志達の聲であつて、勞働者階級の一般的氣分を現はすものでもなければ、また革命的翼の一般的氣分を現はすものでもない。吾々の統一の方針は、指導者に向けられたものではなかつた、むしろ大衆を目當てとしたものであつた。この立場から、統一の戰術は成果を示したか？　然り勿論だ。だから吾々はそれを續行しつゝある。けれども吾々自身の陣列の中には——これは云はれねばならぬ——確かに取るに足らぬものだが然も有害なる一つの偏向がある、それは『如何なる犧牲を賭しても統一といふ戰術』と云はれ得るものだ。統一だ、絶えず統一だ、と日毎に强調されると、統一の名において一切、しかもあらゆることをやり、そして統一のために凡べてを犧牲にすべきだといふ印象をうける二三の同志がある。かやうな氣分が現に存在してゐる。プロフィンテルンは斷乎として彼等に反

對した。即ち、統一は目的ではなくて、目的のための手段だ！　かゝる滅亡的氣分は如何に現はれたか？　多くの國々では、プロフィンテルン加盟者の間違つた戰術のうちに現はれた。様々な同志はこう考へた。私は統一に賛成し勞働組合の分裂に反對だ、コミンテルンおよびプロフィンテルンは私が改良主義的勞働組合で活動してそこで除名されないやうな態度をとらねばならぬ、と。――吾々はドイツで、共産主義者、黨員達が、社會民主主義者の壓迫によつて、或ひは勞働組合に於ける反對派を斷罪した諸決議に同意したといふことを經驗した。同志達が辯解して云ふには、『吾々は統一に賛成だからこそそれに同意したのだ。反對したなら、それと同時に吾々は勞働組合で活動する可能性を奪はれてしまうだらう』と。――彼等の態度が統一の戰術ではなくて、武器を放棄する戰術であるといふことについて證明を必要としようか！　かゝる統一は安價だ。除名の前に安全であるがために、ひたすら勞働組合に於いて沈默を守り、常に社會民主主義者に賛成することが必要だといふのだ、即ち、沈默を守れ、そして名譽のうちに死ねである。かかる俗物を何のために必要としようか。然り、これは俗物だ、共産主義者ではない！　勞働組合においてプロフィンテルンの加盟者として活動するものは、大衆を獲得するために働くものだ。だが大衆を獲得することは、階級的方針の上に止まることによつてのみ出來るのだ。もしも社會民主主義者に從ふならば、鬪爭は何の役に立つのか？　一體統一戰術によつて何

人が何人を獲得するのか、全くわからないことだ。第四回大會に於いてはかくの如き氣分に對して、はつきりした戰線が作られねばならなかつた。かくの如き『理論』は、コミンテルン、プロフィンテルンの原理と、大衆獲得のための吾々の活動とを阻んでゐる。

植民地諸國に於ける勞働組合運動

第四回大會は、植民地に於ける勞働組合運動の諸問題を、非常に立ち入つて取扱つた。支那、フィリッピン、印度、××等に於いては、勞働組合は、そこでは大戰後漸く成立したのであるが、しかも舊い資本主義諸國には缺けてゐる數多くの特質を持つてゐる。

プロフィンテルンは尙ほ非常に年若い。勞働組合運動の特殊性は、正に、それによつて團結された運動が實に統一的政治的形相と統一的イデオロギーを持ちしかも年齢と組織的構成とから言つて極めて異なつた諸々の組織から組成されてゐるといふ點にある。大會は、組合が百年以上の過去を持つイギリスの勞働組合運動のための方針、だが又それと同時に漸く六年乃至八年來の支那の勞働組合運動の鬪爭方法をも作製しなければならなかつた。また同時に大會は、アナルコサンディカリズム、ゴムパース主義に酷似するアメリカ改良主義をその獨得の特徴とするラテンアメリカの勞働組合のための方針を立案した等。植民地に於ける年

若い労働組合運動の特殊な性質は、吾々の大會の最大の注意を喚起せしめねばやまぬのだ。

支那の労働組合運動は、確かにイギリス、ドイツまたはアメリカのそれと比較すると組織的に非常に後れてゐる、だが然し政治的にはドイツやアメリカの労働組合を數十等も凌駕してゐる。アメリカの労働組合運動は、その直接的な、狭い職務的な諸經驗の視角からみれば、歴史的高齢を持つてゐるが、政治的立場からみるならばそれは最も後れた支那の労働者層の水準にある。而もそれが北米合衆國——最も進歩した資本主義國に於ける労働者運動が年若くして革命的精神によつて充たされ、サヴェート・ロシアの進出したる労働組合運動との統一を渇望してゐるからこそ、——吾々の大會は、これ等の國々に於ける吾々の戦術にかくも大きな注意を献げてゐるのだ。

帝國主義に對する闘争に於いては、植民地に於ける労働組合が前衛隊だ。支那の労働組合運動が世界帝國主義に對する闘争に於いて演じた、そしてまた演じつゝある役割だけでも思ひ浮べてみよ。それは異常な關心に對する解明であり、そしてまた吾々の大會が植民地の労働組合問題に拂ふ注意に對する一つの解明だ。私はこゝで、採用された諸決議を説明はしないだらう。それはその他のすべての決議のやうに非常に長い。長い決議、長いテーゼ、そして長い報告は、どうも吾々の弱點で仕方がない。

勞働組合に於けるファシズムに對する闘争

植民地諸國に於ける勞働組合運動の任務に關する討論は、勞働組合の活動が本來の意味において要求する所より以上に詳細であつた。大會では、植民地に於ける勞働者階級の戰術の複雜した問題全部が討議された。かくてのみ、個々の國に於ける方針とそして植民地および半植民地の全勞働組合運動のための方針が描き示され得るのである。テーゼは　政治的ならびに組織的任務を取扱つてゐる。勞働組合は——このことは情勢に於いて獨特なものだが——民族革命運動の前衞でもある。それは同時に帝國主義および國内ブルヂョアジーに對して闘争しなければならない。大會はこれ等の特殊性を考慮し乍ら、植民地諸國に織しそして農民大衆を指導しなければならない。大會於ける勞働組合の直接の任務を決定した。彼等が獨自の力をもつてはその任務の主人公となり得ないことは明らかなことであつた。故に第四回大會の決議の中には次の如く述べられてある、植民地および半植民地に於ける勞働者階級の問題は、全國際プロレタリアートの問題であり、さうして第一に、帝國主義諸國家に於ける勞働者階級の問題である、と。そしてまさにこの所に社會帝國主義的アムステルダム・インタナショナルと革命的プロフィンテルンとの差異が示されてゐるのだ。

かくして次にファシスト的勞働組合運動およびファシズムは、ボルシェヴィズムと同じやうに國際的現象たらんとする要請を揭げて立ちゝある。その要請の權利が與へられてゐるかどうかは、それ自體一つの問題であるが――ファシズムは、階級的運動を抑壓するための方法として確かに、もはやイタリー式、混合したハンガリー式、特殊なバルカン式、即ちルーマニア式、ブルガリア式等の形態が存在してゐる、即ち、元祖のイタリー式ではゐない。革命的勞働組合運動のファシスト的抑壓の樣々な形態がある。ファシズムは色々の仕方でたとへ僅か勞働者の二三の層であらうとも觀念的および組織的に隷屬させようと努力してゐることによつて、普通の白色テラーや普通の反動とから明らかに區別される。ファシズムの一切の性質は反動だ。が併し反動の一切の性質が必ずしもファシズムではない。だから吾々がファシズムについて云ふならば、その勞働者階級に影響を及ぼすための特殊な方法と形態とを注意しなければならない。これ等の方法および形態は、一方では暴力行爲、破壞、逮捕、殺害等を含み、他方では腐敗（イタリーに於けるファシスト指導者の間には、曾つての無政府主義者、社會主義者、改良主義者等がゐる）、ならびに後れた勞働者に觀念的影響を與へる、企圖等を含んでゐる。暴力方法と觀念的政治的分解作用との結合は、ファシストをして二三の所謂組合に基礎をおくことを可能ならしめてゐる。

ファシズムに對する闘爭は、單にイタリーの問題であるのみならず、また國際的勞働組合運動にとつて最高度に重要な問題である。如何にしてファシズムと闘爭し、如何にしてファシスト的勞働組合を粉碎するか？　その中に於いて一般に活動することが出來るか？　こういふ問題が解決されなければならなかつた。第二問に對して、吾々は解答を與へた、ファシスト的組合に於いて活動し得るのみならず、またしなければならない、と。吾々は勞働者に『ファシスト的勞働組合へはいれ』とは云はない、むしろ『ファシスト的勞働組合から出ろと』云ふ。他面に於いて吾々は、ここに僅かばかりの勞働者でもゐる限りは、諸君はファシスト的組合へ最も信賴すべき代表者を送り、それを內部から破壞しなければならぬ。』と云つてゐる。イタリーに於いては、舊い勞働者運動は多少とも意義ある歷史的經驗をもつて成立してゐるので、ファシスト的勞働組合は主として暴力により、或ひは國家、ファシスト黨およびファシスト的機關の結合した壓迫をもつて自らを支持してゐるのだが——例へば支那に於いては、公けにさう呼ばれてはゐないが、實際にはファシスト的な勞働組合へ、後れた勞働者の大なる大衆を引き入れることによつて、イタリーの例が模倣されてゐるのだ。

ファシズムに對する闘爭、ファシズム的腐敗の方法に對する闘爭は、革命的勞働組合運動の最も要な實踐的任務の一つとして議事日程に上つた。大會は、如何にしてファシスト的勞働組合を內部から粉碎し、その中にある後れた勞働者を階級闘爭のために獲得し、組合と闘爭して、倦まざる闘爭に

於いて大衆をファシズムに對し、その轉覆のために組織するか等を革命的勞働者に教示した。大會は詳細な決議を採用し、ファシズム的反動が支配しつゝある諸國に於ける勞働者運動の數多の緊急問題に解答した。イタリーが、とりも直さずファシズムの典型的な國である限りにおいて、その他の國々のファシブムに對するよりも以上の大なる注意をイタリーのファシズムに向けねばならなかつた。これは全く當然のことだ、蓋しイタリーではファシスト的勞働組合が組織的および觀念的に最も進歩したからである。そこでは、ファシスト國家が勞働者大衆に影響を與へようと企圖してゐる。

組織問題

あらゆる問題は吾々が吾々の勞働組合の言葉で『組織問題』といふ概念の中に總括するところの問題にまで鋭くなつて來た。『組織問題』と吾々がいふところのものは、明らかに大衆を獲得するための方法と手段の問題である。この問題に關しても大會の經過中に、夥しい組織上の諸問題——工場委員會の問題、財政の相互關係組織系統の問題、國際宣傳委員會の活動强化の問題等——の中から、吾々の總方針と結びつけられたる一つの問題が峙立した、それは殊更には何ら特別な討論を敢て喚起しはしなかつたけれども、或る程度まで紛議となつたのだ！　次のことなのであつた、勞働組合の機關の獲得を意味するのか、それとも勞働者や勞

働組合員の獲得を意味するのか。この問題は形式的には一見萬人に明瞭であるらしく見える。吾々が大衆を獲得しなければならぬといふことは、表面的には萬人が知つてゐるところだ。けれども吾々の運動は獨特なものであり、それは五十箇國に於ける千五百萬以上の勞働者を包含してをり、組織的に非常に雜多である。故に既に解決されたかに見える問題のうちに、新しい疑問が浮び上がることは理解さるべきだ。

勞働組合機關の獲得を前面に押し進めようとする、ほんの僅か現はれるか現はれぬかの一偏向が存在してゐる。機關の獲得とは何を意味するか？　機關とは大きな一つの機械裝置だ。それは、黨の政策を實行する黨員である、選ばれた技術的雇員を包括するものだ。機關の形式的獨立とか、或はまた無所屬だとかは、周知なるべきやうに、ブルヂョアジーへの依存を意味する。その教訓たる一例は合衆國の勞働組合官僚を階級鬪爭に獲得しようといふ公式は、腐敗した反動的勞働組合官僚を階級鬪爭に獲得しようとする希望を表現するものだ。諸々の經驗（ドイツ、フランス、チェコスロヴァキア、合衆國、イギリス、バルカン等における）は、機關の反動的齒車（幹部のこと……譯者）が組合を分裂させたり、或ひは勞働者がこの齒車をとり代へようとすると警察に訴へたりすることを教へてゐる。工場で一定の勞働組合的職務を果してゐる勞働者を獲得することは、全く區別されなければならない。勿論それ自身一つの問題である。この機關を獲得する幹部、鍛練された社會民主主義的反革命的機關とは、

得するといふ夢は、意識的反動家を革命家に大衆的に轉化するといふ夢だ。かゝる日和見主義的幻想は、稱讃されない。

然し乍ら、全勞働組合機關の獲得が不可能ならば、では或ひはその幾部分かの獲得は可能であるまいか？　問題をこのように提出するのは間違つて提出するものだといふことを示すために、吾々は反對派による地方組織の獲得の後に於ける事物の展開を分析しなければならない。プロフィンテルンの所屬者が改良主義者を指導から推し退け、そしてその職務を革命的勞働者に委託する場合を假定してみる。この場合において吾々は機關を獲得したのか、または大衆を獲得したのか？　確かに大衆を獲得したのだ。吾々は改良主義的官僚を驅逐することによつて改良主義的機關を破壞したのだ。吾々はそれを如何にして成就したか？　吾々が改良主義的勞働組合に於ける大衆の獲得のための鬪爭に於いて獨自の革命的機關を建設し、その援けによつて一定群の勞働組合官僚や坊主共を倒したことによつてである。けれどもアムステルダム派は。勞働者が自分達に反對してゐるので、その地位を明渡すことを好まなかつた。從つて彼等は、その陣地を確保するためには分裂をも躊躇しない。改良主義的勞働組合機關とブルヂョア國家との密接な接近は、ブルヂョア國家機關の獲得を不可能ならしめてゐる。前者も後者も、大衆動員によつて倒さねばならぬのだ。官僚を放逐し、そしてその場所に、吾々

によつて闘争のうちに建設された自己の機關の代表者を立てなければならない。フィンテルンは、機關獲得のスローガンを掲げなかつたし、また掲げもしないであらう。まさにそれ故に、吾々の考へてゐる労働組合の獲得とは、工場に於ける大衆の獲得であり、生産調者である所の機關獲得のために闘争して工場と全國に於いて社會民主黨又はその他のブルヂョア政黨の一つのブルヂョア的政黨だ。ドイツ社會黨や或ひはまたイギリスの労働黨を知る者は、それは労働者から闘に労働者を對立させることである。社會民主黨とは現在どんなものであるか？それが労働者を黨員として持つブルヂョア政黨の機關とそれらの政黨によつて指導される労働組合の機關とが、ブルヂョア・イデオロギー、ブルヂョア的政策、ブルヂョア的影響の擔當者であるといふこと、そしてその機關がブルヂョア國家に完全に編入されてゐるといふことを確認するであらう。從つて機關の獲得について夢みるものは、履行し難い希望に接近するのだ。われわれは大衆に注意を向け、そして彼等を反革命的機關に對し、反動的アムステルタム労働組合の機關に對して動員しなければならぬ。新しい指導、そして反動的指導者の労働組合からの放逐だ——機關の獲得ではないのだ。組合運動がなほ統一的であり、そして革命的労働者が改良主義的組織の中にあるインテルンの加盟者の最も重要な任務である。

未組織者の組織化

この問題は統一の問題と結びつけられたる一の組織問題であり、大衆の獲得に結果として生じるものである。數多の國では勞働者の多數は未組織である。――人々は大きな尺度を用ゐ慣れてをり、高いパーセントで勘定をする。サヴェート聯邦に於ける尺度は實際巨大である。地球の七分の一とか、一千一百萬の組合員を持つ勞働組合とか――それは實際『世界的尺度』だ。それの他のどんな國でも持つてゐない。

資本主義的諸國に於いては、組織勞働者の率は、なかなかサヴェートロシア社會主義聯邦に於けるほど高くはない。それは決して來もしないことだ。しかも全く最小限の率をもつ資本主義的諸國がある。三千萬の勞働者、雇傭者、および下級官吏を有する合衆國では、單に三百五十萬即ち十一パーセントが組織されてゐるに過ぎない。フランスでは、勞働組合にとつて問題視される一千一百萬の勤勞働者の辛くて三パーセントが組織されてゐるにすぎない。日本では、總じて三十萬即ち勞働者の一百萬が組織されてゐる。かくて、巨大な未組織大衆が存在してゐるのだ。それ故、二三の國々に於

ける『未組織者の組織化』の問題は決定的な意義を持つてゐる――労働組合運動が分裂し、國家と反動との壓迫によつて破壊されてゐる國々（ルーマニア、イタリー、ブルガリア等）を除いて、未組織労働者を集結することは、合法的労働組合運動をもつ國々に於いても同様非常な重要性を持つ。私は、既にフランス、合衆國および日本について述べた。ドイツに於いては、未組織者の率は勿論著しく低い。けれどもドイツに於いてもまた、プロレタリアートは全體として單に三十パーセント乃至三十三パーセント組織されてゐるにすぎない。同じことはイギリスにも當てはまる。

私は、繰り返して云ふ、未組織者の組織化は、極めて大きな意義を持つ問題であり、特に二三の國々にとつてさうだと。此の問題と關聯してアメリカに於いて全く特殊な困難が生じた。アメリカに於いては――これが特徴的なことであるが――まさに重工業は組織的に把握されてはゐない。吾々がいつも、決定的工業をどれほど重要視してゐたかは、恐らく周知なることであらう。組織化の問題で吾々がいつも目標としたことは、中心工業をねらふことだ。しかもアメリカに於いては、精煉工業、鋼鐵工業、約百萬の從業労働者を持つ自働車工業及び化學工業は組織されてゐない。纖維産業では労働者のほんの僅かな、即ち八十萬のうち約三萬が組織されてゐるにすぎない。つまりアメリカには、全く何等の組合もないが若しくはけちな組織があるにすぎないような産業が尚ほ澤山ある。かゝる國に於いては主要任務は、すぐての力を未組織産業へ集中せよ、労働組合を建設せよ！　であるべきだ。

この任務は、一見して全くわかりきつてゐる。アメリカの同志にとつては——このことを想像だけしてみよ——けれども疑問があつたのだ。彼等はかう考へた、吾々が勞働組合を建設すれば、並行主義や分裂が生ずると。——自ら着手しようとしないで、彼等は反動勞働組合に向つて未組織を組織せよと促した。——吾々は彼等に向つて屢々云つた、諸君は勞働組合官僚に對して何故未組織者をつかむように提議するのか、諸君自ら當れと。改良主義者は企業家から公然また隱然に甘い汁を飲まされてゐるのだ。彼等は勞働者大衆を組織すべきやうな人間ではない。

プロフィンテルン第四回大會の僅か前に至つて漸く吾々は、アメリカの同志達をして反動家に對するアピールを斷念せしめ、彼等自身の力に賴ること、自らイニシアティーヴをとり、何人かがアメリカに於ける二千四百萬乃至二千五百萬の勞働者を組織するときまで待つべきでないことを認識させることが出來た。

アメリカの同志達の間違つた態度はどういふわけであつたか？　未組織者の獨自的組織化は統一の戰術を覆へすといふ間違つた心配からだ。宛も統一の戰術が、改良主義者に行動の自由を保證し、彼等を無益、無希望に驅使することにあるかの如くだ！

かゝる誤謬がまた、ドイツの二三の共産主義者によつて、ストライキ戰術の問題に關聯して犯された。彼等は曰く、吾々の任務――反對派の任務――は、改良主義者を强制して鬪爭させることだと。吾々は、それに對し彼等に答へた、彼等が自ら頭を割るように改良主義者を强制しなければならない。吾々は改良主義者が鬪爭を欲しないのだ。吾々は勞働者の面前に彼等の假面を剝がなければならない。さもなくば『改良主義者を强制せよ』といふ戰術は惡い結果を持つことゝなる。吾々は改良主義者を强制しなければならぬ、

いまもなほ書いてゐる『勞働者よ、勞働組合へは入れ』と。それに對して、私は曾て彼等に質問したことがある、諸君は何故、『勞働者よ勞働組合へは入れと書くのか――勞働組合ではなくて、大衆の中へは入れだ。』私はそれによつて、活動を工場へ移し、注意を勞働者大衆がゐる場所へ集中しなければならぬと云はふとするのである。かくてプロフィンテルン第四回大會は、一般的決議ならびに諸々の國々への決議のうちに、一聯の重要な實踐的指令を與へたのである。

個々の國に對する大會の實踐的指令

第四回大會は、凡べての國の勞働者運動の進路を示す一般的性質の決議の外に、なほ個々の國に於ける吾々の戰術に獻げられた種々の特別な決議を採用した。大會に於ける諸委員會は、合衆國、イギリスに於ける吾々の戰術に關し、またオランダ、アイルランド、ドイツ、印度、チェコスロヴァキア、支那およびフランスに於けるプロフィンテルンの加盟者の戰術に關するものであつた。既にこれ等の國々の名前を列擧しただけで勞働者運動の情勢や性質の種々相を示してゐる。そしてこのために、特別な決議が必要であつた。イギリス、ドイツおよび合衆國に關する決議とともに、大會は支那の勞働組合運動と印度のための行動綱領を起草した。そこに於いては、吾々は最近勞働者運動の素晴らしい高まりを體驗し、巨大なストライキが全國の經濟生活を搖がして、イギリス帝國の最重要な植民地の